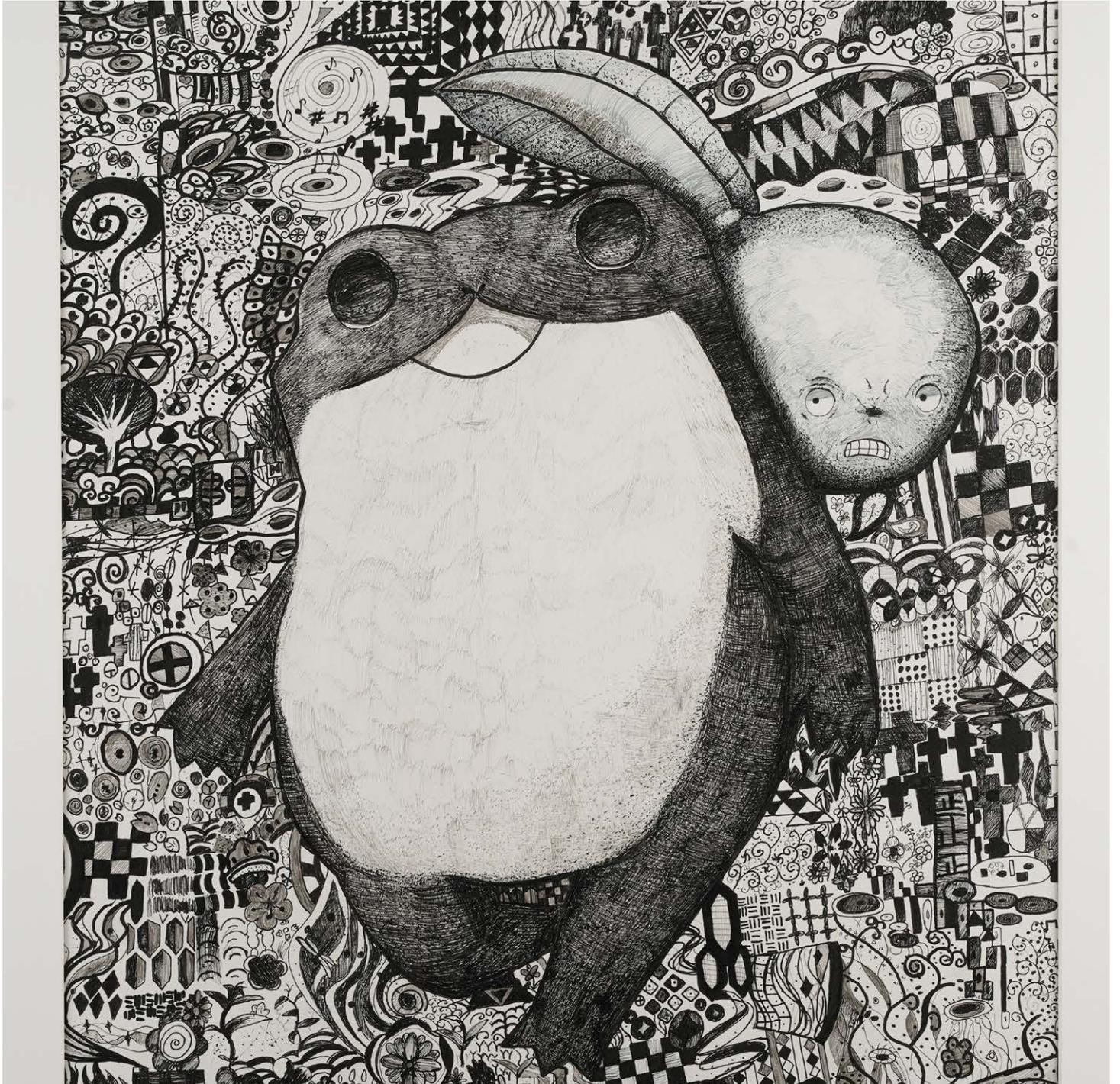


# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To all Rotary members in RID2840



## CONTENTS

<b>ガバナーメッセージ</b>		
	会員増強・新クラブ結成推進 .....	02
<b>プロフィール</b>	RI 会長プロフィール .....	04
	2025-2026 年度 国際ロータリー会長メッセージ .....	05
<b>メッセージ</b>	ガバナーから国際ロータリー第 2840 地区会員の皆様へ（補稿） .....	07
	ガバナースタッフ紹介 .....	09
	2025 年規定審議会レポート 2 人頭分担金増額にもっと関心を持とう .....	10
<b>各種報告</b>	国際大会報告 .....	17
	第 3 回 ガバナー補佐会議 .....	23
	クラブ管理運営セミナー .....	24
	第 1 回 ガバナー諮問委員会 .....	25
	地区ラーニング・管理運営委員会 .....	26
	第 1 回 青少年交換委員会 .....	27
	青少年交換委員会 第 1 回 派遣学生オリエンテーション .....	29
	ガバナー会より 「日・タイ共同ミャンマー復興支援」についてのご報告 .....	31
	地区内クラブ奉仕事業のご紹介（桐生 RC） .....	34
<b>お知らせ</b>	「地区大会」のご案内 .....	35
	地区大会記念ゴルフ大会開催のご案内 .....	35
	ガバナー公式訪問要領・ガバナー公式訪問日程表 .....	36
	地区主要行事予定表 .....	40
	周年行事・IM 開催予定 .....	42
	コーディネーター NEWS .....	43
	出席報告・My Rotary 登録率 .....	47
	新会員紹介 .....	49
	新会員入会実績報告（6 月末日現在） .....	51
	ガバナーより一言 .....	52
	ガバナー月信の表紙について .....	53
	ガバナー事務所よりお願い .....	55

## ガバナーメッセージ 「会員増強・新クラブ結成推進」

新年度が始まり、各クラブも活動計画に沿って奉仕活動を始め様々な行動を、会長を中心に力強く進められていることと思います。

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

会員増強は英語では、membership 会員数です。会員の数の維持拡大には、ご承知の通り、新会員の獲得と退会防止しかありません。

		クラブ数	会員数		入会	退会			新会員 目標
			7/1	7/1		6/30	通期	12月末	
2015～	生方年度	46	2016	2058					
2016～	豊川年度	46	2058	2063					
2017～	田中年度	46	2063	2112					
2018～	宮内年度	45	2112	2100					
2019～	森田年度	45	2100	2081	160	179	23	23	237
2020～	山田年度	45	2081	2063	141	159	21	21	172
2021～	足立年度	45	2063	2025	136	174	28	28	133
2022～	中野年度	45	2021	2004	153	170	37	37	127
2023～	保坂年度	45	2002	2032	201	171	26	26	141
2024～	森年度	45	2032	2009	148	171	32	32	124

コロナの影響が収束したここ数年は、入会数は、各クラブの新会員目標を上回っています。しかし、退会が上回り、会員が減少する傾向が分かります。新会員の獲得に注力する以上に、退会防止へ目を向けることが必要なことは、言うまでもありません。

私の職業分類は、施設建設、建設業です。建設の現場では、朝礼時に“危険予知活動 KYK”というミーティングを行い、その日の作業で起こりうる労働災害を予測し、それへの対策を作業する方、現場責任者で共有します。

この手法を退会防止にも役立てられないかと考えました。まず、まず、あの会員は「最近例会に来てないよね」「例会が楽しくないみたいだよ」「そろそろ転勤じゃないの」みたいな状況を把握します。次に、「私が声かけてみるよ」「入会の紹介者は誰だったけ」。クラブ内での情報をどこまで共有するか、どのような組織で対応を検討するかなど課題は多いと思いますが、会員一人ひとり、目を向けてみましょう。これを私は“退会予知活動 TYK”と勝手に名付けました。

個人的な対応とあわせて、クラブ全体としての環境作りも重要です。新会員が溶け込みやすい環境をつくる、インクルーシブなクラブ文化をつくる。これらは、一朝一夕には整えられませし、継続的に意識し続けなくてはならない重要なことです。

言うまでもなく、会員増強や、奉仕プロジェクトの実施は、私たちの最終目的ではありません。

私たちの目的は、会員一人一人が、ロータリーの中核的価値観に基づき、四つのテストを実践し、ロータリーのビジョン声明に掲げる世界を創ることです。ロータリーのビジョン声明は、「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」であります。

しかし、目的を達成するためには、活動を継続し続けなくてはなりません。私は地区運営方針の中で、クラブに対して

- ・クラブを継続させるために必要な会員規模、予算規模の確認
- ・クラブを発展させるために必要な基盤の拡大に向けての方針の策定

をお願いし、これらを決定、推進する上で、クラブ全会員が認める手続きを経ることが重要であり、クラブの将来へ向けた目標、目的のクラブ全会員で共有する必要があるとお伝えしました。

デ・カマルゴ元 RI 会長エレクトは、会員を増やすことは、「ロータリーの capacity 力を拡大することができると訴えました。また、アレツォ RI 会長は、会員を増やすことによって「our reach 影響を拡大する」とも話され、あわせて、「会員を増やす最も効果的な方法は、第一に retention（とどめておくこと？）保持率を高めることです。」と退会防止の重要性も説かれています。

もう一つの会員数を増やす手段として、新クラブの結成があります。

クラブの種類には、従来型の“ロータリークラブ”“ローターアクトクラブ”“衛星（英語では satellite サテライト）クラブ”があり、例会の形式には“対面式”“オンライン形式”、両者を併用したハイブリッド型と呼ばれるものがあります。

クラブのモデルとしては従来型クラブに加えて、“パスポートクラブ”“分野特化型クラブ”“関心特化型クラブ”“法人クラブ”など、多様なクラブモデルがあり、独自のクラブモデルの考案も認められています。

クラブの種類・形式・モデルや会員の種類など、あまりなじみのないものかもしれません。

そこで、8月24日曜日に開催いたします“クラブ活性化ワークショップ”では、国際ロータリー第2580地区パストガバナー第2地域 RMC 若林 英博 様（東京麹町 RC）をお招きして、ご講演をいただき、ご講演を受けて「分区における新しいクラブモデルによる新クラブ設立の可能性と、クラブの多様な会員スタイルの導入による退会防止と会員増強の可能性を探る」ことを目的にワークショップを企画いたしました。

内容は、月信でもご報告させていただきますので、是非、ご活用ください。

これらに関するリソースは、My Rotary、クラブ・地区支援リソース集（←この名称で検索してみてください、国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室 がまとめたものです）をご参照ください。

インクルーシブで活気あるクラブ環境を整えるために、皆で手を取り合ってまいりましょう。

## RI 会長プロフィール

国際ロータリー会長

フランチェスコ・アレツツォ

Francesco Arezzo

---

2025-2026年度 会長  
イタリア  
ラグーザ・ロータリークラブ



矯正歯科の開業医で、シチリア島でエキストラバージンオリーブオイルを生産する農業企業を所有。

パドヴァ大学卒業。イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーであり、イタリアとヨーロッパの舌矯正歯科協会のメンバーでもある。カリアリ大学歯学部で舌矯正歯科の修士号も取得。

ラグーザ県の National Association of Italian Dentists の副会長を務め、National Trust for Italy 創設者として同団体で7年間ラグーザ県を代表。

シチリア島モンティ・イブレイ地域での農業企業の所有に加え、この地域の良質な石油生産を管理・規制するコンソーシアムの管理評議会の副会長を務める。同地域に二つのブティックホテルを所有。趣味は現代美術鑑賞とオペラ。

36年来のロータリー会員であり、合同戦略計画委員会副委員長、RI 理事、2023年メルボルン国際大会委員長、ラーニングファシリテーター、地区大会での会長代理などを歴任。

観光業界の起業家であるアナ・マリア・アレツツォ・クリシオーネ夫人との間に二人の娘さんと二人のお孫さんがいる。娘のラファエラさんはロータリー青少年交換で米国フロリダ州に1年留学。妻アナ・マリアさんと共にロータリー財団のベネファクターとメジャードナーとなっている。

(My Rotary より)

## 2025-2026 年度 国際ロータリー会長メッセージ

親愛なる友人の皆さま

2週間前、私は自宅の居間で孫たちと遊んでいました。その数日後、私はカルガリー行きの飛行機に乗り、この素晴らしい組織を率いるという突然の責任を負うこととなりました。人生はあっという間に過ぎますが、自分がいるべき場所に導いてくれるものです。

今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います：よいことのために手を取りあおう。シンプルながら、力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。しかし、実のところ、このようなリーダーシップは必ずしも簡単ではありません。私たちは人間であり、間違えることもあります。意見が対立することもあります。ロータリーではより大きな視点が求められます。ロータリーのビジョン声明の全文を見てください：

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。

今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。関係を通じてロータリーを成長させ、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れるクラブとなり、1年という枠を超えてビッグに考えてください。私たちの任期はあっという間ですが、継続性とビジョンを持って計画、行動すれば、未長いインパクトを生むことができます。私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないようにしましょう。かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけにはいきません。世界の子どもたちとの約束を守らなければなりません。また、ロータリーは1世紀以上にわたって平和を構築してきました。安全な水のシステム、青少年交換、母子の健康プロジェクトなど、あらゆる活動が平和へのステップとなります。

私が若き職業人としてロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていました。人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できないと思っていた夢を、取り出すときが来ました。その夢に光を当てましょう。クラブ、地域社会、そして世界のために、よいことのために手を取りあおうではありませんか。リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた1年といたしましょう。

感謝と敬意を込めて

2025-26 年度国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツォ

## ガバナーから 国際ロータリー第 2840 地区会員の皆様へ（補稿）

国際ロータリー第 2840 地区  
2025 - 2026 年度  
ガバナー 竹中 隆

皆様ご存じの通り、前年度末に国際ロータリー会長エレクト、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏の突然の辞任という RI の歴史でも極めてまれな事態が発生しました。RI は、定められた手続きに則り、前年度内に後継のフランチェスコ・アレツォ氏（ラグーザ・ロータリークラブ/イタリア）を指名し、本年度を迎えました。

後継会長の決定とともに、会長メッセージは RI 理事会の承認通り、Unite for Good「よいことのために手を取りあおう」が引き続き使用されることとなりました。

マリオ氏とは、国際協議会前に日本でガバナーエレクトだけを対象にしたミーティングで、直接お考えを伺いました。国際協議会では、6 日間に渡り薫陶を受けただけでなくパーティーも一緒させていただきました。これからの一年間一緒にロータリーを考え、行動していく仲間と言ってもよい存在でした。マリオ氏の突然の辞任は、私を大きく落胆させ、RI に対する不信感さえ感じさせたものでした。

フランチェスコ氏の会長就任が決まってもどこかモヤモヤした気持ちでした。ですが、二人の会長から、Unite for Good の理解、その推進の考え方をお聞かせいただけると、現在は気持ちを切り替えています。

そこで、マリオ氏から発せられ、3 月の会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナーでお話させていただき、地区会員必携にも掲載させていただいた私から地区会員の皆様へのメッセージの中のマリオ氏からの部分もそのままお示しさせていただきます。

加えて、フランチェスコ氏からのメッセージ、国際大会の閉会セッションでの RI 会長エレクトとしてのスピーチを受けて、私から皆様へ以下の内容を加えさせていただきます。

私は、Unite for Good というメッセージが示されたとき、誰と Unite「手を取りあう」のか、for Good「よいこと」とは何なのか、皆さんで考えることが大切であるとお話ししました。

フランチェスコ会長は、Unite「手を取りあうこと」とは、団結し、調和し、集まることを意味し、団結は二つの異なる視点で理解でき、それは、空間と時間であると説かれました。

空間で団結することは、すべての会員を巻き込むことを意味し、会員だけでなく、パートナーとして機能する組織、地元の行政、他のボランティア団体を巻き込むことを意味し、ひいては「私たちの影響を拡大する」ことに繋がられるとおっしゃいました。

影響を拡大するということは、会員を増やすことであり、第一に退会防止、それも入会 2～3 年の会員に焦点を当てるべきであると強調されています。クラブでの体験を改善することに加えて、地域の文化や伝統に合わせた新しいクラブの形態を導入することも奨励されています。

もう一つの概念は時間です。

「手を取りあうこと」は時間の中での一体性としても理解でき、前任者や後任者と穏やかに協力する必要性を指しています。一年のプロジェクトは制限的になることがあり、一年しか続かないプロジェクトは、変革をもたらすことは稀で、常に表面的な課題の解決で終わってしまいます。本当に世界と人々の生活を変えたいのであれば、より大きな計画を立て、複数年にわたるプロジェクトを考えなければなりません。私たちの任期は一年間だけかもしれませんが、先人たちと、そして後に続く人たちと共に働き、計画しなければならないと、継続の必要性を強調されました。

for Good「よいこと」の第一目標は、達成までにあと一步となったポリオ撲滅であるが、「よいこと」の最終目標は、平和であると述べられました。

平和とは何かについては、平和センターへの理解、青少年交換、病気の予防や治療、清潔な飲料水や衛生環境の提供、安全な環境で女性が出産でき、子供たちの世話をすることへの支援など、ロータリーが行っている日常的な活動であると、再認識させていただきました。ロータリーは創設以来、平和のために活動し続けてきた組織であるとおっしゃっています。

そして、その本質はロータリーのビジョンにあるとも加えられました。ロータリーのビジョン声明は、「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」であります。

さらに、夢を持つことの重要性にも触れられました。

夢を見ることは熱意の結果であり、熱意を生み出します。ロータリーのリーダーは、自らが夢を持たなければ、そして、メンバーに夢を見させることができなければ、成功した一年を迎えることは難しいと述べられています。

皆の夢を結集し、一つの大きな共通した夢にできれば、それが皆を団結させ、興奮させ、実行できれば、世界を、私たちの人生も変えられると力説されました。

マリオ氏のメッセージは、国際協議会の中でガバナーエレクト向けでしたが、フランチェスコ会長は国際大会でのものであり、ロータリアンへの呼びかけであったように感じました。

その中で、フランチェスコ会長は、何度も何度も、Together と呼びかけられました。

私たちも、次世代のために、Together 共に、Unite 皆で手を取りあい、より良い世界、より良い地域社会を築くことを、目指してまいりましょう。

## ガバナースタッフ紹介

			職業分類	事業所	担当分区	担当委員会
1	樋口 哲雄	代表地区幹事	貴金属販売	(株)藤井繊維		
2	平田 稔	地区会計長	公認会計士	公認会計士・税理士 平田稔事務所		
3	橋谷 晋治	地区副幹事	タイヤ販売	ブリヂストンタイヤ 高崎販売(株)	第2分区A	ポリオプラス・資金推進(メイン) ／地区補助金(メイン)
4	廣神 壮郎	地区副幹事	住宅建設	(株)廣神建設	第4分区B	DEI推進(メイン)
5	堀込 敏彦	地区副幹事	外構工事	(有)堀込興業	第6分区	RLI推進(メイン)
6	堀口 晋吾	地区副幹事	不動産賃貸	(株)フィールデイズ	第4分区A	RYLA・学友(メイン)
7	井上 智太	地区副幹事	茶道具販売	(株)泰山	第2分区B	審議会立法案検討委員会(メイン) ／危機管理委員会(メイン)
8	小林 晴彦	地区副幹事	自動車用品販売	オートボックス (株)コバヤシ	第5分区	資金管理・平和フェロウシップ (メイン)／青少年交換(メイン)
9	小池 達哉	地区副幹事	住宅建設	(株)SOU	第1分区	ロータリーの友地区(メイン)
10	近藤 利弘	地区副幹事	事務用品販売	(有)近藤金庫店	第5分区	グローバル補助金(メイン)
11	久保 満	地区副幹事	電気工事	(株)くぼけん	第2分区B	インターアクト(メイン)
12	串田 洋介	地区副幹事	総合設備業	クシダ工業(株)	第3分区	
13	宮川 秀彦	地区副幹事	人材派遣業	(有)アリガコーポレー ション	第6分区	
14	大畑 亜樹夫	地区副幹事	総合デザイン	(株)原人社	第3分区	公共イメージ・ICT推進(メイン)
15	大井田 健一	地区副幹事	薬剤師	大井田薬局(株)	第4分区B	職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕 (メイン)／米山記念奨学(メイン)
16	須永 正儀	地区副幹事	工業薬品	(株)ミツワ化学	第2分区A	会員組織強化(メイン)
17	高野 由博	地区副幹事	薬局	(有)つばさ薬局	第4分区A	国際大会推進(メイン)
18	堤 謙治	地区副幹事	舗装工事	(株)堤組舗装	第1分区	ロータリー財団(メイン)／ ローターアクト(メイン)
19	入山 こず江	ガバナー事務所	事務局員			
20	佐藤 由紀恵	ガバナー事務所	事務局員			

# 人頭分担金増額にもっと関心を持とう

連載 2025年規定審議会レポート2

審議会地区代表議員・審議会立法案検討委員会委員長  
パストガバナー 本田 博己（前橋ロータリークラブ）

## 人頭分担金はあなたのクラブ会費から徴収されています

規定審議会レポートの2回目は、人頭分担金の増額について取り上げます。数字や図がたくさん出てきて読みづらいかも知れませんが、私たちにとって重要なテーマですので、しばらくお付き合いをお願いします。

人頭分担金といっても、あまり実感していない方もいらっしゃるかも知れませんが、クラブは、毎年（実際は半期ごとに）会員数分の分担金をRI（国際ロータリー）に支払っています。この分担金はRIの活動の最重要の資金源となっています。私たちが人頭分担金を拠出している実感があまりないのは、私たちがクラブに払っている年会費から自動的に差し引かれているからです。

## 立法案集には、異例の3案併記、そして2案は撤回

2025年規定審議会の立法案集（規定審議会にて提案される全立法案＝制定案を掲載）は、昨年2024年9月に発行されました。

その中にRI理事会は、驚くことに3件の人頭分担金に関する制定案を並べて提出してきたのです。（\*以下の制定案の番号表示は、2025年規定審議会の何番目の制定案かを表している）

RI理事会の人頭分担金に関する制定案は、以下の3件です。

25-47 人頭分担金を決定するためのプロセスを改正する件

25-48 人頭分担金を増額し、人頭分担金を決定するためのプロセスを改正する件

25-49 人頭分担金を増額する件

25-47は、規定審議会での審議プロセスを省いて、人頭分担金の額を毎年理事会が決めることができるという提案で、さすがに、世界の審議会代表議員の賛同は得られないと判断したのか、理事会は立法案集発行後、早々にこの提案を撤回（取り下げ）しました。

25-48は、増額幅は次の25-49と同様ですが、インフレ率等を勘案し、毎年理事会が7%の範囲で増額幅を調整できると、理事会裁量を条件つきで認める内容です。この制定案25-48は、規定審議会直前に撤回されたのですが、そのことをほとんどの代表議員は知らされないまま規定審議会を迎えたのです。

このように、人頭分担金に関して、新しいプロセス変更を含む3種類の提案を提出し、状況を見ながら、最終的に（従来と同様パターンの）1件に絞ったRI理事会のやり方は、世界の地区代表議員たちを混乱させた、姑息とも不誠実ともとれる姿勢だと思えます。

## 今回も人頭分担金大幅増額決定

最後まで残った人頭分担金増額提案25-49の内容は、2025-26年度は年間米貨82ドル（半期ごと41ドル：前回決定）、それ以降の3年間、2026-27年度には年間85.5ドル（半期ごと42ドル75セント）、2027-28年度には年間89ドル26セント（半期ごと44ドル63セント）、2028-29

年度には年間 93 ドル（半期ごと 46 ドル 50 セント）となる。つまり、来年から年間 3.5 ドル、3.76 ドル、3.74 ドルと毎年増額することになります。この増額幅は、前回 2022 年決定とほぼ同様です。

45 分の白熱した審議の結果、制定案 25-49 は、賛成 351 対反対 135 で採択されました。

この決定の結果、2025-26 年度（今年度）は年間 82 ドルですが、3 年後の 2028-29 年度は年間 93 ドルとなります、これを現在（7 月 29 日）の為替レート、1 米ドル 148 円で換算すると、82 ドル = 12,136 円から、3 年後は 93 ドル = 13,764 円と、1,600 円強の増額です。これを多すぎるとみるのか、大した増額ではないとみるのか、後ほど実際の代表議員間の賛成・反対の主張のやりとりをご紹介します。あなたが、代表議員だったらどんな主張をしたいと思いますか。

人頭分担金の増額については、3 年に 1 度開催される規定審議会に必ず RI 理事会から増額提案が提出され、審議の上、その後の 3 年間の人頭分担金の額が決定されてきました。かつては、人頭分担金は毎年 1 ドル増額というのが通常でしたが、2016 年規定審議会で、これまでにない毎年 4 ドルの増額が提案され、当時激しい議論の末に採択されています。2019 年規定審議会では通常の毎年 1 ドル増額（2022-23 年度まで）で落ち着いたように見えてましたが、前回 2022 年、そして今回 2025 年もまた理事会は大幅増額提案を提出してきたのです。

### なぜ人頭分担金を増額する必要があるのか—RI理事会の説明

RI 理事会が増額の根拠としているのは、規定審議会の冒頭示される「5 年間の財務見通し（暫定）」です。この資料（PDF で 8 ページ）では、「2022 年からの財務の最新情報」と「2027-30 会計年度の見通し」の二つの項目で、データを示しながら増額の必要性を訴えています。

「2022 年からの財務の最新情報」の収支の説明は以下の通りです。

RI 本部は、収入と支出が均衡する予算を目指しています。

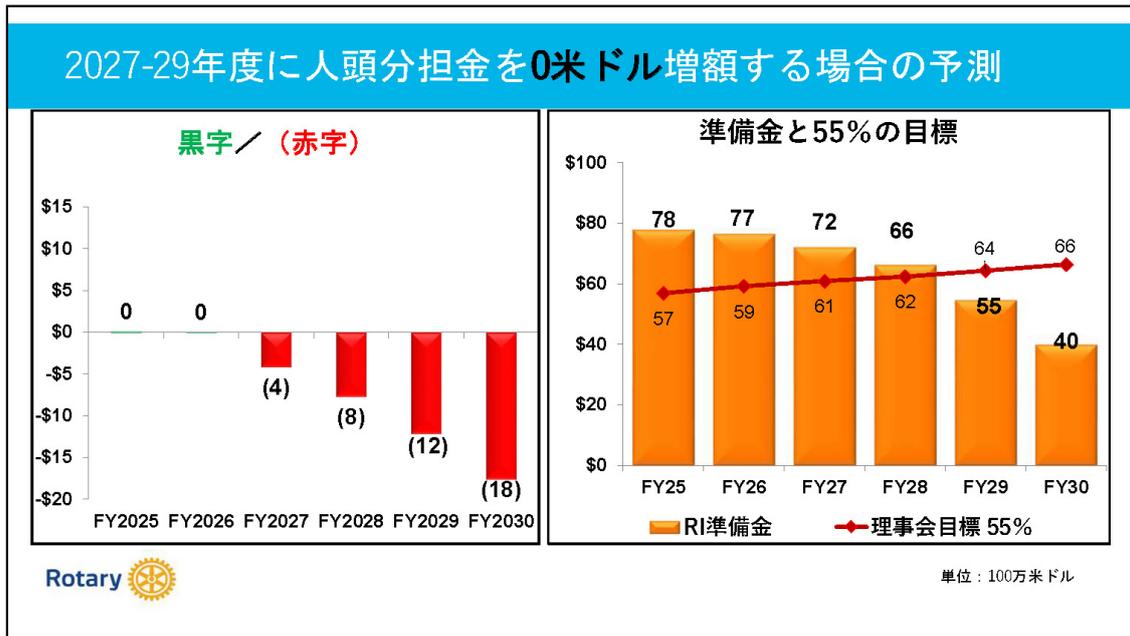
ロータリーの主な収入源は、会費、投資収入、支援業務その他の三つで、予測より 800 万米ドル下回った。そのうち、会費収入は収入全体の約 70% を占めており、会員数が見通しを下回ったことにより、400 万米ドル予測より下回る結果となった。一方、支出は、主に情報技術、通信、プログラム・会員への支援における継続的なコスト管理と削減努力により、予測より 1,100 万米ドル抑えることができた、と説明しています。

以上の現状を踏まえて、「理事会と事務局は、プロセスの改善とコスト削減のためのリサーチと対応を続ける一方、ロータリーのインフラへの大規模な投資、会員への支援の強化、世界的な規制要件の遵守のために十分な資金を確保していきます」と結論づけています。

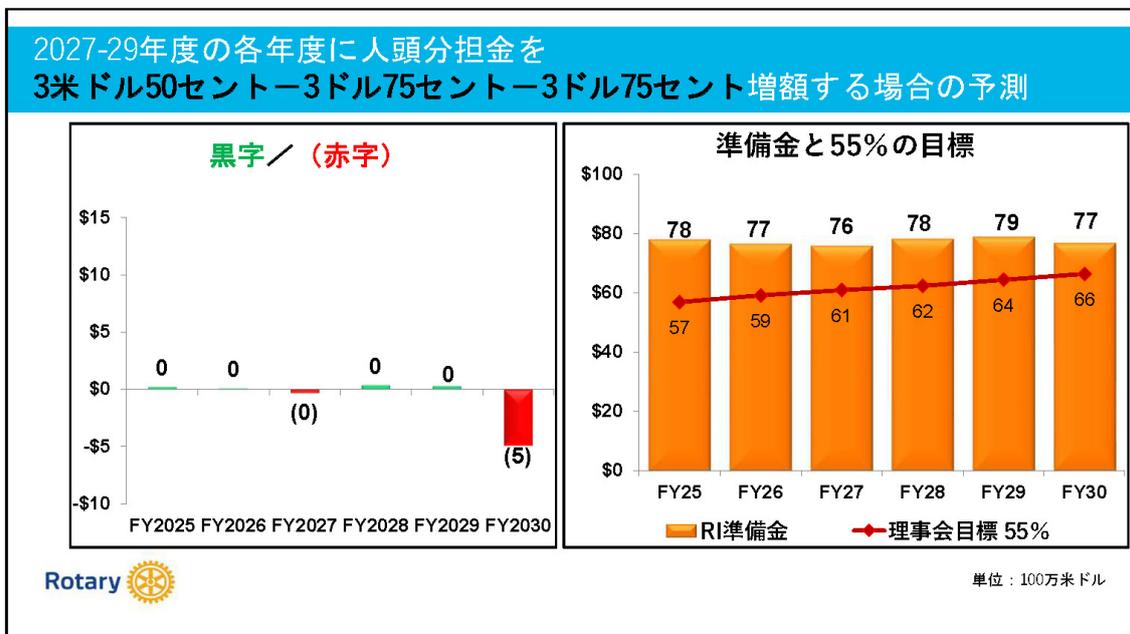
実は、この結論部分は、前回 2022 年に示された結論とほとんど同じ文章です。「プロセスの改善とコスト削減」と言葉では表明しても、私たちが納得できる具体的な対応がなされないまま、3 年前と同じ文章を繰り返す RI 理事会の姿勢は極めて不誠実と言わざるを得ません。

次の「2027-30 会計年度の見通し」には、人頭分担金を増額する必要があることを説明するために 2 つのグラフが示されます。

最初のグラフ（次頁）は、人頭分担金を増額しなかった場合の収支推移予測です。左のグラフは、増額しなかった場合、2025、2026 会計年度は、収支ほぼトントン、2 年後の 2027 会計年度から 2030 会計年度にかけて大幅な赤字が生じることを示しています。そして、人頭分担金の増額がなければ、2027 会計年度からロータリーは収支のバランスを維持できなくなり、RI の運営と業務に影響を及ぼす、と訴えています。右のグラフは、事業や経済の予期せぬ事態への対応のためにプールしておく準備金（6 か月分の運営費）が、年と共に減少し、理事会が目標としている 55% の水準も下回ることを示しています。



さて、次の2番目のグラフ（下図）は、RI 理事会提案の制定案 25-49 とほぼ同じ上げ幅、3ドル50セント、3ドル75セント、3ドル75セントと増額した場合の予測です。左のグラフを見ると、2025、2026 会計年度は均衡予算、2027 会計年度は若干の赤字、2028、2029 会計年度は均衡予算、2030 会計年度は赤字となる。右のグラフの、準備金はすべての予測年度において理事会目標（赤線）を上回っている、と説明しています。赤字に転落する 2030 会計年度以降の人頭分担金は、次回 2028 年規定審議会決定されることとなります。



いかがでしょうか。これでは、人頭分担金増額も止むを得ないと思われたでしょうか。私は、規定審議会の地区代表議員として、この「5年間の財務見通し」に対してはRI 本部事務局の不誠実さを強く感じています。規定審議会では、毎回この「5年間の財務見通し」が示されるのですが、いつも同じ説明の仕方です。十分な増額をしなければ、2年後には収支は赤字に転落する、だから増額するしかない、と。

一般的に、企業が、売り上げが伸びず利益減となり、赤字に転落しそうになった場合、「入るを量りて出るを制す」という礼記の言葉のように、売り上げ拡大策や商品価格の値上げを考えるだけでなく、経費を削減する方策を真剣に考えるはずです。

支出を抑える努力については、この「財務見通し」でも「プロセスの改善とコスト削減のためのリサーチと対応を続ける」と漠然とした言い方しかしておらず、具体的に何をすると示していません。人頭分担金増額の制定案 22-49 の「財務上の影響」にも「ロータリーは引き続き、ロータリアンへの質の高い支援を維持しながら、コスト削減の機会を調査していく」とのコメントはありますが、実際に経費削減の具体的な努力については、これまで、一度も RI 本部は実行した形跡がありません。RI 本部にとって、いわば顧客であり出資者でもある私たちロータリアンに、あまりにも不誠実な対応だと言わざるを得ません。

### 制定案25-49に関する実際の審議内容

現在 RI は、規定審議会の詳細な審議プロセスの記録は公表していません。日本では、2010 年以降 4 回の規定審議会の審議記録は、2500 地区の小船井パストガバナーがボランティアで作成したもの（通称 小船井メモ）が一部の代表議員の間で共有されてきました。前回 2022 年の審議記録は 2650 地区の刀根荘兵衛代表議員がこれもボランティアで作成しました。過去 5 回の膨大な一つ一つの立法案の審議記録を、私も読み込んだ上で今回の規定審議会に参加し、代表議員の役割を果たす上で大変参考になりました。

以下は、人頭分担金増額に関する RI 理事会提案制定案 25-49 の実際の審議の発言内容です。（今回の審議記録は、2650 刀根荘兵衛さんと 2700 地区代表議員の吉田知弘さんの合作）

制定案に賛成の代表議員は緑のカード、反対は赤いカードを持って、会場に設置された 4 つのマイク席に並び、議長の指名を待ちます。

〈RI理事会の制定案22-49の提案説明の後審議に入る。発言時間は各2分以内〉

（反対）1450 デンマーク 基本的に反対。今のレベルで維持されるべき。ITとかインフラ整備は重要であるが、他のコストを削減させるべき。財務的な責務を果たすと言うこと。同じような収入でやっている会社も多くあり、インフレの影響を受けているが、値上げは出来ない。少なくとも今の金額を維持することが重要。パブリックな組織では税金を値上げできないので、優先事項を決めて、活動内容を決めて行くことになる。ロータリーも同じようなことをしなければならない。COL（規定審議会）ではマイクロマネジメントをするべきではない。これは理事側が行うべき事。これで均衡予算を言うこと。わたしたちの決定事項ではない。ゼロベースの予算組みをしていると言うことがあるならば、この質問に対する答えもあるはず。これはCOLに対しては提供されていない。人頭分担金は増額すべきではない。

（賛成）6060 RIBI 賛成したい。世界は大きく変わっている。なにが起こるか予想がつかない。しかし、世界はロータリーを必要としている。ロータリーは未来のためにもっと強くならなければならない。組織の運営をするには資金が掛かると言うこと。そして今すべての価格が急速に上がっている。だから増額を必要としている。この増額は少ないものだ。大きな視点で考えるべき。スターバックスの珈琲一杯分だ。タクシーに乗った金額より、ジントニックを飲んだ料金より安い。

(反対) 2820 高橋 どの組織でも値上げをする前に、業務の改善やコストの削減に努めるのが世の常である。ロータリーも例外ではない。5カ年の財務見通しでは、値上げしなければ赤字で運用できないとしているが、それではどれだけの経費が削減され、どれだけの効果があったのか全く説明がない。それをしないで増額は認められない。どれだけのコスト改善の努力をしてどれだけのコストが削減できたかを明確にした上で、人頭分担金の増額をお願いしたい。

(賛成) 7320 米国 この日曜日RIから明確な説明があった。5カ年の見通しは、財務の健全性を明確にし、RIとTRF（ロータリー財団）のためになる、これが必要であるのだということがよく理解できた。ロータリーの目的を推進するためには、しっかりと時間と献身が必要。世界は急速に変わっている。そしてすべての値段が上がってきている。RIとTRFがしっかりとリソースを持って、私たちのアウトリーチを広げて、テクノロジーを強化して行くためには、やはり（増額は）必要である。

(動議) 1890 ドイツ もっと詳細なコストの内訳、年間の収入の内訳の情報をもっと詳しく示してください。

(議長) 追加の情報が欲しいということですね。

(事務総長) Webサイトにはしっかりした情報が入っている。Webサイトご覧下さい。

(以下、審議の手続きに関するいくつかの動議が続いたが省略)

(反対) 8040 70%以上の人々が初参加。2019年のCOLでも人頭分担金が討議されたが彼らは知らない。5年の見通しがあった。事務総長は年次報告があるというのだが、もっと情報を必要としている、それでもっと透明性を増すことが出来る。ディスカッションの根拠を持つことが出来る。25-49に反対です。

(賛成) メキシコ すべての決議に根拠があるべきだと教わった。私たちは世界的な組織として、すべての決議は妥当な合理的なものだと考える。国際ロータリーのためになると考え、賛成して欲しいと思う。これは私たちが求めていることだ。増額はそれほど多額ではない。一杯の珈琲程度だ。インフレ率より低い。コストではなく、最大限と言うことを考えるべき。

(反対) 2650 刀根 この10年間国際ロータリーは大幅な人頭分担金値上げをしてきた。10年間で1.45倍です。そして会員数は、6%減少です。会員数の減少以上に人頭分担金が値上がりしています。私たちと良く比較される組織にライオンズクラブ国際協会があります。ライオンズ国際協会はロータリーより20万人会員が多く、クラブ数も1万クラブ以上多い。しかし、人頭分担金はロータリーよりも安い。RI人頭分担金はライオンズの1.64倍。ライオンズはこのイリノイ州のオークブルックに本部があり、財団を含めて200名の職員が活躍しています。ロータリーはエバンストンに約500数十名のスタッフがいます。もう少しロータリーは効率化できるのではないのでしょうか。現在、USAでは政府効率化省が大活躍し大きな成果を挙げています。ロータリーも抜本的な効率化を図るべきです。できれば、イーロンマスクさんに活躍して戴いては如何でしょうか。

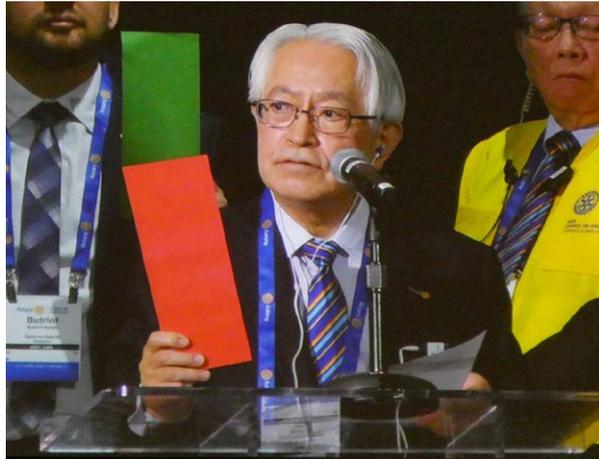
(議長) マスクさんに是非、ロータリーの会員になって戴きたいですね。

(賛成) 5230 RIは私たちに様々なリソースを提供してくれる。そして地区とクラブが十分な活動ができるように支援している。今世界の物価は高くなってきている。私たちは世界各地でそのようなことをしなければならない。

毎年、理事会が理事として、どのような分担金にするか考えて戴くことができるのではないかと思います。私たちはビジネスリーダーです。そして、キチンと責任を負っている理事会がありながらも、これだけの収入しか得ることができませんとなると、そこで出来た成果物とか業務奉仕というものが、限られたものにしかならないということも道理であると思います。理事会が解決策を毎年、必要に応じて決めて戴く、規定審議会に委ねて決議をして戴く。私たちは世界のリーダーであることを前提に、賛成して戴きたい。

(反対) 2840 本田 私は、この制定案にこのままでは賛成できません。

「5年間の財務見通し」を、私は3年前にも見ました。人頭分担金増額0ドルの場合、1~2年後には赤字に転落し、赤字幅は広がってゆく。だからしかるべき増額が必要だ。今回も同じグラフです。デジャブでしょうか？ このような説明をこれからもRI理事会は規定審議会毎に繰り返すのでしょうか。なんとなく増額は必要だと思



人頭分担金増額反対！レッドカードを手にマイクに立つ

わせることしか説明の仕方はないのでしょうか？ 私たちが求めるのは、増額によって得られる私たちのメリットは具体的になんであるか。増額しない場合に私たちが失うものは具体的に何なのか。

それらを説明することなしに、また、私たちがそれを納得することなしに増額を繰り返すことに私は反対します。

(賛成) 変化の時代と言う歌があります。そして、今の時代へ変化しています。それに適応するために、増額が必要である。資金はセンシティブな問題です。私たちの組織は持続可能でなければならない。前回のCOLにも出席したが、資料には満足している。私は理事会を信用している。私たちが選んだ方です。

(賛成) 理事会は漸進的な考え方を持っています。価値が何なのかをよく考えるべき。価値があるものを提供できている。コストが高くなっている。代表議員は理事会の提案に反対する傾向がある。しかし、ロータリーの価値観をよく考えてほしい。

(反対) 2600 関PDG 人頭分担金は増え続けている。増額の理由はわかるが地区内の小さなクラブにとって負担が増え続けている。クラブの財政を圧迫していること考えてほしい。小さなクラブの会長の顔を思い出して投票して欲しい。

(賛成) 2140 ベルギー 強く支持する。増額は高いかもしれませんが、ただし実質の値段を考えると少額なものだ。ただ食べ物が高いだけです。ただし、資金の透明性を考えてほしい。

(反対) 3001 かなりお金が必要となっている。経費を節約して、オンラインなどのテクノロジーを使ってコストを下げるができる。

(賛成) 6200 世界一流の奉仕団体として、会費が合理的かどうか、を考えるべき。先ほど発言した代表議員が言われましたが、価値が重要。素晴らしいものがある。増額は合理的なもの。ロータリーから得ているものは十分価値がある。人頭分担金を払う価値がある。値上げはあたり前ではないでしょうか。

(理事会による結びの論述)

私たちは比類のない組織である。47と48ですが、全世界の代表として理事会メンバーが選ばれ、代表として判断していることを理解しなくてはならない。生活費が上がっているし、生活費だけでなくすべてのものが上がっている。上げないのはフェアではない。10年間の値上げはインフレ率より低い。これは効率をもって守っているということ。ウェブサイトでかなりの情報があり、透明性である。ほとんどのコストはメンバーにかかるコストではない。会員増強のイニシアチブがある。新しいクラブを15名で創ることができることになりました。テクノロジーなどを強化することも必要です。増額がないと4500万ドルの赤字になる。世界はロータリーを必要としている。

45分間に及ぶ討議が終了。(投票) 賛成351：反対135で採択

さあ、皆さんはこの審議のプロセスを追って何を感じたでしょうか。人頭分担金増額の賛成・反対意見のどちらを支持するでしょうか。

議長は審議を開始するとき、いつも“Please Debate！”と宣言します。“Debate”(ディベート)は日本語では「討議・討論」という意味ですが、この25-49についての審議では、「賛成」、「反対」がそれぞれの主張を言い合うだけで、すれ違いのように見えます(他の制定案審議の時も同様に討議になっていないことが多かった)。そして反対意見もかなり多かったのも印象的です。

規定審議会は、ロータリーの唯一の立法機関ですが、実際の審議は、ディベート、つまり論戦に終始し、時間をかけて合意形成を図ったり、議論を練り上げたりする機会ではないのが現状です。これは、規定審議会のあり方に対する本質的な疑義を誘発するのですが、この連載の最終回に改めて考えたいと思います。

### 財務の透明性を求める声が高まる！

今回のRI理事会による人頭分担金増額提案(25-49)の審議で浮き彫りになったのは、反対表明した多くの代表議員が、具体的な「プロセスの改善とコスト削減」の明示、つまり財務の透明性を強く求める声を上げたことです。

このことは、人頭分担金増額審議の少し後に審議された、2840地区提案の「制定案25-53 プロセスの改善とRIによる経費削減対策に関し定期的に発表するよう規定する件」採択につながりました。

今回規定審議会の最大の成果と言ってもよい、RI本部に「財務の透明性」を強く求めた2840地区提案の採択の経緯について、次回詳しく報告します。お楽しみに。

## 国際大会報告

国際ロータリー第 2840 地区  
ガバナー 竹中隆

2025 年 6 月 21 日から 25 日まで、カナダ、アルバータ州のカルガリーで、国際大会が開催されました。2840 地区の参加者を代表して、報告させていただきます。

21 日にバンクーバー経由でカルガリーに到着し、翌日 22 日水野 RI 理事主催の親善朝食会に参加いたしました。当初参加の予定はありませんでした。

皆様ご存じのとおり、国際大会前の 6 月 9 日にマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が突然辞任され、14 日にフランチェスコ・アレツォ氏が、RI 会長エレクトに就任されました。地区会員必携の表紙は、デ・カマルゴ氏と国際協議会で撮影したものです。しかし、その写真を今後も使うのか、今までにない事態でした。同期のガバナーエレクトの中から国際大会開催中にアレツォ氏と記念撮影をしていただけないかという要望が上がり、前述の親善朝食会での機会を設けていただけることが、決定し、急遽参加することといたしました。

日本のロータリアン、パートナーが 600 人ほど参加する朝食会でした。例年ですと、一国の親善朝食会に、RI 会長エレクトが参加することはないようでしたが、アレツォ氏のみならず、アーチック会長も参加されました。

アレツォ氏はイタリアご出身ということもあってか、陽気で飾らないお人柄が、伝わってくるスピーチでした。希望する人との写真撮影にも全て応じ、時にジョークを言って周りを和ませるような気配りもなさっていました。



アーチック会長スピーチ



アレツォ会長エレクトスピーチ



アレツォ会長エレクトご夫妻と



アレツォ会長エレクトと



同期のガバナーエレクト

国際大会の開会式は、午前、午後の二部制です。2840 地区からの参加者も2つに分かれてしまいました。私たちは、午後の部でした。

会場は、カルガリーのダウンタウンに近いスタンピード・パークに位置するBMOセンター、大きなコンベンションセンターです。ここで、友愛の家、各種セッションが行われます。

開会式、閉会式は、隣接したスコシアバンク・サドルドームで、こちらは、1988年の冬季オリンピックでアイスホッケーとフィギュアスケートの会場にもなり、NHLのカルガリー・フレイムスの本拠地でもあります。



会場前のヤフー

登録を済ませて、友愛の家に向かいました。友愛の家では、過去の国際大会ではロータリーグッズを買うぐらいでしたが、今回は、ロータリアン行動グループとロータリー親睦活動グループのブースを廻ってみました。ブースのロータリアンは、皆フレンドリーで国を超えた繋がりを持つことの可能性を感じました。



開会式

開会式会場に向かうと、屋外でバンド演奏、パンケーキの配布などが行われており、ホスピタリティ溢れる設営となっていました。

いよいよ、サドルドームに入りました。開式までまだ30分ほどありましたが、20,000人収容のスタジアムはほぼ満席で、一番上の端っこしか空いていませんでした。



国旗セレモニー

開会が宣言され、各国の国旗が入場するロータリーの国際イベントのセレモニーから、アカデミー賞受賞俳優のジーナ・デイヴィス氏やノーベル平和賞受賞者のタワックル・カルマン氏など、著名なスピーカーが登壇しました。

アーチック会長は、カウボーイハットにウエスタンブーツにお召替えして、参加者へ「ヤフー！」と呼びかけました。これは、カルガリーの名物イベント「カルガリー・スタン



アーチック会長スピーチ

ピード」にちなんだもので、多くのロータリアンもカウボーイハット姿で参加していました。

スピーチでアーチック会長は次のように語りました。「ロデオの服を着ているからといって、私たちが真剣でないわけではありません。この派手な装いの奥には、“目的意識”があります。いま世界は分断されていると感じられるかもしれませんが、でもロータリーは、違いをなくすのではなく、その違いを祝うために世界中の人びとをつなぎます。これこそ、ロータリーが平和を広げる方法です。平和とは、争いがない状態だけを意味するのではなく、理解しあう心がある世界を意味するからです」

ビデオでの参加もありました。

世界保健機関（WHO）のテドロス・アダノム・ゲブレイエソス事務局長は、最近の政府からの資金削減という困難に直面しながらも、それを乗り越えられると強調し、ポリオ根絶に対する強い意志を改めて表明しました。

ビル・ゲイツ氏（ゲイツ財団理事長）も、次のように語りました。「私たちはいま、岐路に立っています。今後数年間がポリオ根絶のカギとなります。全力を注がなければ、ポリオがなくなったと思っていた国で再発してしまう恐れがあります。根絶を完遂するには、政府、医療従事者、そしてロータリーの皆さんの継続的な取り組みが不可欠です」

ロータリーとゲイツ財団は、ポリオ根絶の実現に向けた長年のパートナーシップを更新し、今後3年間に最大4億5,000万米ドルをこの取り組みに投じる共同コミットメントを発表しました。

開会式終了後は、地区ナイトへ向かいました。今回のカルガリーでは、2820地区、茨城と共同開催でした。森ガバナーと茨城の大高ガバナーの発案で実施され、両地区あわせて40名を超える賑やかな懇親会となり、クラブ紹介、自己紹介など、交流が深まりました。ただ、一晩一緒に酒を飲んだというだけでなく、今後、クラブ、会員同士の継続的な友好関係に発展することを願います。

参加者は23日以降自由行動となりました。カナディアンロッキーに氷河を見に行ったグループ、バンフの観光、ドラムヘラーの恐竜博物館に行った人など、各自思い思いのカルガリーを楽しみました。



2820地区のメンバーと（地区ナイト）



2820地区のガバナーとエレクトと



閉会式

私は、25日まで滞在したので、予定はしていませんでしたが、国際大会閉会式に参加してみました。今まで国際大会に参加しても、開会式と友愛の家に行くぐらいでしたが、今回出発前に本田パストガバナーが「目的は何なの？閉会式にも出た方がいいよ。」とおっしゃられたからかもしれません。

閉会式では、平和に関するセッションが行われました。中でも、イエメンのジャーナリスト、ノーベル平和賞受賞者タワックル・カルマン氏の対談では、カルマンさんの発言ではブーイングが寄せられるなど、全部が理解できたわけではありませんが、物議を醸すものがあったように感じました。

カルマンさんは、タワックル・カルマン財団を通じてイエメンで学校の建設、貧困との闘い、医療支援など、多岐にわたる社会貢献活動を行っているようですが、『TIME』誌の「歴史上最も反抗的な女性」17人のリストに名を連ね、2011年には「Women of the Year」（今年の女性）100人にも選ばれたそうです。

カルマンさんは活動家でもあり、ご自分の活動への熱量と、国連やロータリーなどの他の組織の覚悟の違いへのいら立ちのようなものがあるのではないかとも思いました。平和という定義や、それに向き合う姿勢など、考えさせられるセッションでした。

閉会式に参加した最大の目的は、アレッツォ会長エレクトの言葉を聞くことでした。親善朝食会ではショートメッセージでしたので、アレッツォ氏が Unite for Good をどう語るのかを注目していました。

アレッツォ氏は、以下のように紐解かれました。

Unite「手を取りあうこと」とは、団結し、調和し、集まることを意味します。団結は二つの異なる方法で理解できます。空間と時間で団結する必要があります。



アレッツォ会長エレクトスピーチ

空間で団結することは、すべてのメンバーを巻き込むことを意味しますが、メンバーだけでなく、パートナーとして機能する組織、地元の行政、他のボランティア団体を巻き込むことを意味します。「私たちの影響を拡大する」ということです。そして、影響を拡大するということは、会員数を増やすことを意味するともおっしゃいました。重ねて、会員を増やす最も効果的な方法は、第一に退会防止であると強調されました。

時間とは、前任者や後任者と穏やかに協力する必要性を指しています。私たちの任期は一年間だけかもしれませんが、先人たちと、そして後に続く人たちと共に働き、計画しなければならないと、継続の必要性を強調されました。

for Good「よいこと」の第一目標は、達成までにあと一步となったポリオ撲滅であるが、「よいこと」の最終目標は、平和であると述べられました。

アレツォ氏は、平和とは、私たちが最も得意とし、毎日行っていることと定義されました。そして、それらについて、次のように述べられ、私に再認識させてくれました。若者を平和センターに連れて行くことや、青少年交換で他国に送り出すことは、平和のための活動です。病気の予防や治療も平和のための活動です。清潔な飲料水や衛生環境を提供することも平和のためです。安全な環境で女性が出産でき、子供たちの世話をすることも平和の活動です。私たちが住む環境を改善し、女子教育を支援し、事業を始められない人々に経済的支援を提供すること、これらすべてが平和のための活動です。

デ・カマルゴ氏のメッセージは、国際協議会の中でガバナーエレクト向けでしたが、アレツォ氏は国際大会でのものであり、ロータリアンへの呼びかけであったように感じました。その中で、フランチェスコ会長は、何度も何度も、Together 共にと呼びかけられました。

最後にアーチック会長のスピーチです。

ポリオ撲滅、広い意味での平和構築、教育などロータリーが取り組む重要項目を挙げ、継続する必要性を説かれました。ロータリーの価値観を強調し、クラブの活性化にも触れられ、結びに、全てのロータリアンに感謝を伝えられました。

デ・カマルゴ氏からも薫陶を受けた私とすると、アーチック会長、アレツォ会長エレクトのお二人が、デ・カマルゴ氏の業績を称え、アレツォ氏は、すぐに友情を再び築けることを望んでいると述べられたことが、大変うれしく感じました。

閉会式のフィナーレでは、バンド演奏があり、会場が一体となり、いつもの国際イベントのように、大ダンス大会になりました。



アレツォ会長エレクト PolioMembershipPeace



アレツォ会長エレクト Together

閉会が宣言され、まだ会場の熱気が冷めない中、アーチック会長が再び登壇し、無言で点鐘したとき何故かこみ上げてくるものがありました。アーチック会長の点鐘は、国際大会の終了なのか、ご自身の年度の最後のものだったのか……。



アーチック会長点鐘

大会会場以外でも、色々な出会いがありました。

ロータリアンは、ロータリアンをすぐに見つけます。そして、話しかけ、握手をします。共通点を見出し、無条件に友人になります。まして、共通の友人がいればなおさらです。知り合いだったら、肩をたたきあったり、ハグしたり大騒ぎですよ。

来年は、台北です。皆さんも、国際大会に参加し、ロータリーの輪を広げましょう！

(台北では、開会式、閉会式以外のセッションにも参加しようと思ってます。)



閉会式後（感慨にふける）



他国のロータリアン



同期ガバナーエレクト



他地区のロータリアン



トロントのガバナーエレクト

## 第3回 ガバナー補佐会議

- 日時：2025年6月16日（月）13：30～14：30
- 会場：高崎商工会議所2階 第3会議室
- 出席者：竹中 隆ガバナーエレクト、森田高史地区ラーニング・管理運営委員会副委員長、  
中野正美地区ラーニング・管理運営委員会副委員長、三好建正ガバナーノミニ、  
小磯正康ガバナー補佐、青山 豊ガバナー補佐、鷹巣 修ガバナー補佐、  
関口朋克ガバナー補佐、大谷恒雄ガバナー補佐、原 精一ガバナー補佐、  
赤井幸夫ガバナー補佐、和田雅之ガバナー補佐、  
新井良和地区ラーニング・管理運営委員会委員、  
飯田知義地区ラーニング・管理運営委員会委員、樋口哲雄代表地区幹事、  
堤 謙治地区副幹事・堀込敏彦地区副幹事
- 報告者：代表地区幹事 樋口哲雄（高崎北 RC）

6月16日（月）高崎商工会議所において、第3回となるガバナー補佐会議を開催いたしました。直後に始まる担当年度の活動に備え、竹中 隆ガバナーエレクトより最終確認やお知らせをし、改めてガバナー補佐の皆さんのご協力をお願い致しました。

§ ガバナー補佐の役割について 竹中 隆ガバナーエレクト

§ ガバナー補佐の活動について  
公式訪問前のクラブ訪問および報告書提出について  
クラブサポートミーティングについて  
IMの開催について  
ガバナー月信について

§ 地区大会について  
地区リーダーシップセミナーとRI会長代理晚餐会（10/24 午後ホテルメトロポリタン高崎）  
地区大会（10/25 午後 高崎芸術劇場）  
地区大会懇親会（10/25 夕方 ホテルメトロポリタン高崎）



## クラブ管理運営セミナー

- 日 時：2025年6月16日（月） 15:00～16:50
- 会 場：高崎商工会議所
- 出席者：竹中 隆ガバナーエレクト、森田高史地区ラーニング・管理運営委員会副委員長  
三好建正ガバナーノミニ、小磯正康ガバナー補佐、鷹巣 修ガバナー補佐、  
関口朋克ガバナー補佐、大谷恒雄ガバナー補佐、原 精一ガバナー補佐、  
赤井幸夫ガバナー補佐、和田雅之ガバナー補佐、樋口哲雄代表地区幹事、櫻井正晴地区幹事、  
平田 稔地区会計長、小板橋 桂地区財務委員、  
新井良和地区ラーニング・管理運営委員、君島准逸地区ラーニング・管理運営委員、  
飯田知義地区ラーニング・管理運営委員、地区副幹事 12名、  
各クラブ会長エレクト、次年度幹事、事務局員
- 報告者：代表地区幹事 樋口哲雄（高崎北 RC）

竹中年度スタート直前の6月16日（月）、高崎商工会議所において、各クラブ会長エレクト、次年度幹事、クラブ事務局員を対象とした「クラブ管理運営セミナー」を開催いたしました。平日のお忙しい中、Zoomでの出席も含めたくさんの方にご出席頂きました。ありがとうございました。内容は下記の通りです。

- |       |  |                         |
|-------|--|-------------------------|
| 15:00 | 趣旨説明                                       | 森田高史地区ラーニング・管理運営委員会副委員長 |
| 15:05 | ガバナーエレクト挨拶                                 | 竹中 隆ガバナーエレクト            |
| 15:10 | アンケート結果発表                                  | 飯田知義地区ラーニング・管理運営委員会委員   |
| 15:30 | クラブ事務局各種手続きについて<br>マイロータリー                 | 前田 修 ICT 推進委員会委員長       |
|       | クラブセントラル・クラブサポートミーティング・3Year Rolling Goals | 竹中 隆ガバナーエレクト            |
| 16:05 | 手続要覧、クラブ定款、クラブ細則について                       | 新井良和地区ラーニング・管理運営委員会副委員長 |
| 16:20 | クラブ事務局マニュアルについて                            | 森田高史地区ラーニング・管理運営委員会副委員長 |



## 第1回 ガバナー諮問委員会

- 日 時： 2025年7月13日（日）10：00～11：30
- 会 場： ホテルグランビュウ高崎
- 出席者： 森田均パストガバナー、山崎學パストガバナー、曾我隆一パストガバナー、横山公一パストガバナー、福田一良パストガバナー、安藤震太郎パストガバナー、本田博己パストガバナー、田中久夫パストガバナー、山田邦子パストガバナー、足立 進パストガバナー、中野正美パストガバナー、保坂充勇パストガバナー、森 末廣パストガバナー、竹中 隆ガバナー、三好健正ガバナーエレクト、湯澤 晃ガバナーノミニ、樋口哲雄代表地区幹事、後藤圭一地区幹事、櫻井正晴地区幹事、平田 稔地区会計長、松島宏明地区財務委員、小坂橋桂地区財務委員、22名
- 報告者： 代表地区幹事 樋口哲雄（高崎北 RC）

7月13日（日）ホテルグランビュウ高崎において、竹中年度の「第1回ガバナー諮問委員会」が開催され、下記内容が報告・討議されました。

### § 森直前年度報告

（地区会員数報告、6/30付脱会クラブ、MyRotary登録率、財団寄付実績、ポリオプラス寄付実績、米山記念奨学寄付実績）

### § 竹中年度報告

（クラブ活性化ワークショップについて、委員会活動報告、ガバナーエレクト事務所収支報告、ガバナー事務所契約更新について）

### § 地区大会について

#### § 審議会次期代表議員と補欠議員の選出について

#### § 審議会代表議員の選出方法

#### § 主な地区委員会毎の担当副幹事、事務局員および業務分担について

#### § 2028-29年度地区ガバナー候補者推薦のお願い

#### § ガバナー会からのお知らせ

（各地区大会開催予定について、2024-25、2025-26年度主要行事予定、2025-26国内役員・委員リスト、2025-26ガバナー事務所情報）

#### § ガバナー月信について

このあと昼食をとりながら懇談しました。



## 地区ラーニング・管理運営委員会

- 日 時：2025年7月13日（日）13：00～14：30
- 場 所：ホテルグランビュー高崎
- 参加者：竹中 隆ガバナー、田中久夫地区ラーニング・管理運営委員長  
中野正美副委員長、森 末廣委員、三好建正委員、  
湯澤 晃委員、新井良和委員、飯田知義委員、君島准逸委員  
樋口哲雄代表地区幹事
- 報告者：地区副幹事 堀込敏彦（高崎北 RC）

竹中年度がスタートして初めての委員会が開催され、下記の議案について活発な意見交換がなされました。

### クラブ活性化ワークショップについて

8月24日（日）に前橋問屋センター会館にて、クラブ活性化を目的としたワークショップの開催が決定しました。新クラブ形態や多様な会員制度の紹介、分科会形式での議論などを通じて、各クラブの課題と可能性を共有する場とする予定です。参加対象はクラブ幹部4名程度で、事前アンケートによる現状把握も行われます。会員減少への対応や退会者再参加の促進、モデルクラブ設立に向けた有意義な機会となるよう準備が進められています。

### 地区大会プログラムについて

地区大会のプログラムについて、多岐にわたる検討が行われました。記念講演に代わるポリオに関するディスカッションや、登壇者の選定、音楽プログラムの演出案が話し合われたほか、スケジュールや休憩の調整、来賓対応、記念撮影の方法など詳細が議論されました。また、青少年プログラムやクラブ紹介、クラブ活性化関連の資料配布、今後のセミナー日程などについても意見が交わされ、円滑な運営に向け準備が進められています。



## 第1回 青少年交換委員会

- 日 時：2025年7月13日（日） 10:00～12:00
- 会 場：ホテルサンダーソン
- 出席者：新井 聡青少年交換委員長、久保貴則青少年交換副委員長  
飯島芳臣委員、前原信之委員、荒木千津子委員、宇田榮二委員  
中山雅之委員、小林晴彦地区副幹事、ROTEX 7名
- 報告者：地区副幹事 小林晴彦（高崎北RC）

7月13日（日）ホテルサンダーソンにて「第1回青少年交換委員会」が開催されました。内容は下記の通りです。

1. 委員長挨拶 新井 聡委員長
2. ROTEX 挨拶
3. 出席者並びに配布資料の確認 小林晴彦副幹事



#### 4. 議事

- 1) 確認事項 新井 聡委員長

- ① 役割分担の件  
別紙「青少年交換委員会 役割分担」を参照
- ② その他  
福岡にて青少年研修会が開催される旨

- 2) 報告事項 新井 聡委員長

- ① 短期交換学生について  
短期受入学生 Jacqueline Faith REINHARDT さん（ホストクラブ安中 RC）来日報告。
- ② 海外渡航事情について  
VIZA 取得面接受付は始まったので、オリエンテーションで長期派遣学生の現状確認を行う。
- ③ 青少年交換委員会全国委員長会議について
  - ・オーストラリアとの交換は問題が多く発生している
  - ・アメリカオンリーではなく、もっと視野を広げ多くの国を選定した方がよい。
- ④ 渡航アドバイザーについて  
今まで、渡航についてフォローが無かったため、委員会に渡航に関するアドバイザーとして小林聡会員（桐生西 RC）に参加してもらった。
- ⑤ その他  
名刺作成をしたい。



## 3) 協議・依頼事項

- ① 委員会予算の件 新井 聡委員長  
受入学生の研修旅行を ROTEX と一緒に計画を予算10万円程度で行う。
- ② 派遣学生オリエンテーションの件 前原信之委員  
別紙「第1回派遣学生オリエンテーション」を参照
- ③ ホストファミリーオリエンテーションの件 久保貴則副委員長  
ホストファミリーへの説明
- ④ クラブ・カウンセラーオリエンテーションの件 久保貴則副委員長  
YES システム入力状況を踏まえクラブ・カウンセラーオリエンテーションを実施する。
- ⑤ 次年度派遣学生応募の件 前原信之委員  
現状0名、4～6名の応募者を確保していきたい
- ⑥ イバウド`学生受け入れ日程の件 前原信之委員  
前年度委員長に確認しているが返答がないので再度確認する。
- ⑦ 帰朝報告会並びに歓迎会の件 前原信之委員  
8月31日(日) ホテルサンダーソンにて開催予定。  
委員会予算が少ない為、参加者から徴収する。
- ⑧ 2026-2027 派遣学生の選考方法について 新井 聡委員長  
以下の意見があった。
- ・英語の筆記試験はいらぬのでは。
  - ・ROTEX より基準が分かりにくいので基準を作ってみては？
  - ・面接だけでも良いのでは？(本人・親御・英語会話の面接)
  - ・待合室での様子なども参考にしてみる。
- ⑨ その他
- ・壮行会時に指定してはるはずの紺色ブレザーを着用していないが、用意しているか確認する。
  - ・全国 ROTEX 会議の連絡が来なかったので連絡が欲しい。

## 5. 次回開催日の確認

第2回委員会会議 8月9日(土) 13時～

## 6. 閉会



## 青少年交換委員会 第1回派遣学生オリエンテーション

- 日 時：2025年7月13日（日） 13:30～15:00
- 会 場：ホテルサンダーソン
- 出席者：新井 聡青少年交換委員長、久保貴則青少年交換副委員長  
飯島芳臣委員、前原信之委員、荒木千津子委員、宇田榮二委員  
中山雅之委員、小林晴彦地区副幹事、ROTEX 7名  
派遣学生、保護者
- 報告者：地区副幹事 小林晴彦（高崎北RC）

7月13日（日）ホテルサンダーソンにて「第1回派遣学生オリエンテーション」が開催されました。  
内容は下記の通りです。

- |  |          |
|--|----------|
| 1. 委員長挨拶   | 新井 聡 委員長 |
| 2. ROTEX 挨拶  | ROTEX 代表 |
| 3. 出席者の紹介  | 新井 聡 委員長 |
| 4. ROTEX 自己紹介  |          |
| 5. 配布資料の確認   | 小林晴彦 副幹事 |
| 6. 報告事項  | 新井 聡 委員長 |
| 1) 短期交換学生紹介  |          |
| 短期受入学生 Jacqueline Faith REINHARDT さん（ホストクラブ安中 RC）紹介    |          |
| 2) 海外渡航事情のについて   |          |
| 長期派遣学生の VIZA 取得状況を派遣学生より聴取し、全員まだ VIZA 面接予約ができてない状況を確認。 |          |
| 短期派遣学生はエスタ取得済であることを確認。渡航保険は準備中。                        |          |
| 委員会としては、早期取得に向け情報収集及び働きかけを試みる。                         |          |
| 3) その他   |          |
| 今後、小林聡会員（桐生西 RC）より、渡航手続きについてアドバイスを頂く旨報告。               |          |

7. 派遣学生オリエンテーション

- 1) 各種申請書類について 前原信之 委員  
RI 申請 13 項目等必要書類について確認。
- 2) 渡航準備について ROTEX  
渡航準備について必要書類確認及びフォロー。
- 3) 保護者の方々へ 久保貴則 副委員長  
諸注意及びお願いを伝達。
- 4) その他  
プロフィール仕上がり状況確認。(全員発表)

— 派遣学生・インバウンド学生・親御さんの3組に分かれそれぞれに説明 —

8. 次回開催日の確認

第2回オリエンテーション 8月9日(土)

9. 閉会



## ガバナー会より 「日・タイ共同ミャンマー復興支援」についてのご報告

### ミャンマー地震支援金の取り纏めおよび 「日・タイ共同ミャンマー復興支援」への送金完了報告

急啓 ミャンマー大地震支援金の取り纏めおよび「日・タイ共同ミャンマー復興支援」への海外送金についてご報告申し上げます。

各地区ならびに地区を通じて各クラブよりお預かりした支援金合計 41,792,353 円 (日本円) を、R13350 地区指定の以下の口座へ送金が完了し、受領確認報告がありました。

当初、お預かりした支援金は、R13350 地区内の「D3350 Stream of Compassion 災害救援基金」へ送金を予定しておりましたが、日本の各地区から多くの支援金をお預かりしている旨、支援リストを添えて R13350 地区 Patsri Suwimol 2024-25 年度ガバナーへお伝えしましたところ、「日・タイ共同ミャンマー復興支援」として専用の口座を新設いただきました。口座新設の手続きにより、支援金の送金が年度を跨いだことについて、ご理解をいただきたく存じます。

日本から送られた支援金は、学校再開に向けた取り組みと連携し、住まいを失った方々への住居支援プロジェクトに充てられる予定です。支援プロジェクトの進捗は逐次ご報告いただけることになっております。報告が届き次第、随時皆様へお知らせさせていただきます。以下、資料を添えてご報告申し上げます。

敬具

【記】

#### 「日・タイ共同ミャンマー復興支援」

ガバナー会でお預かりした支援金 合計 41,792,353円 (日本円)

送金日：2025 年 7 月 8 日 (火)

送金先：「JAPAN - THAILAND MYANMAR RECOVERY」専用復興支援口座

口座名義 5 名

DG Patsri Suwimol Rotary International District 3350 (2024-2025)

DG Jakchai Visutthakul Rotary International District 3330 (2024-2025)

DG Apisak Jompong Rotary International District 3360 (2024-2025)

DG Sangtiwa Tong-U-Chang Rotary International District 3340 (2024-2025)

PP Yuphadee Keeree District Finance Chair, District 3350 On behalf of the Rotary Governors of Thailand Rotary Year 2024-2025

## 御礼状 2025/7/22 RI3350 地区 Patsri Suwimol 2024-25 年度ガバナーより

**Report on Fund Transfer from Rotary Clubs in Japan for Myanmar Recovery Support**

JAPAN - THAILAND Joint Initiative

We are pleased to report that a total of JPY 41,792,353, collected from 24 Rotary districts in Japan during the Rotary year 2024–25, has been successfully transferred and received into the dedicated Thailand account for the “JAPAN - THAILAND MYANMAR RECOVERY” fund, as detailed below.

Date of Transfer:

Tuesday, July 11, 2025

Amount Transferred:

- Japanese Yen (JPY): 41,792,353
- US Dollar Equivalent (USD): 284,127.77
- Thai Baht Equivalent (THB): 9,245,517.64

Exchange Rate Applied: 1 USD = 32.54 THB

## Beneficiary Account Information

Account Name: JAPAN - THAILAND MYANMAR RECOVERY – Dedicated Recovery Support Account

Account Holders:

- DG Patsri Suwimol (Rotary International District 3350, 2024–25)
- DG Jakchai Visutthakul (Rotary International District 3330, 2024–25)
- DG Apisak Jompong (Rotary International District 3360, 2024–25)
- DG Sangtiwa Tong-U-Chang (Rotary International District 3340, 2024–25)
- PP Yuphadee Keeree, District Finance Chair, District 3350

This transfer was made possible thanks to the leadership and collective efforts of the Rotary districts of Japan. We sincerely appreciate this meaningful gesture of solidarity. The relief funds received will be allocated to a housing support project for individuals without homes, in conjunction with efforts to reopen schools. We will provide a progress report in due course.

On behalf of the Rotary Governors of Thailand, Rotary Year 2024–2025

DG Patsri Suwimol Governor, Rotary International District 3350

Rotary Year 2024–2025

District	Governor Name (JP)	Governor Name (EN)	Region	Amount (JPY)
2530	早川 敬介	Keisuke Hayakawa	Fukushima	1,263,741
2550	市田 登	Noboru Ichida	Tochigi	1,300,000
2560	南雲 博文	Hirofumi Nagumo	Niigata	1,466,575
2570	五十幡 和彦	Kazuhiko Isohata	Western Saitama	1,000,000
2580	石川 彌八郎	Yahachiro Ishikawa	Tokyo & Okinawa	2,920,000
2590	長戸 はるみ	Harumi Nagato	Kanagawa (Yokohama & Kawasaki)	1,631,570
2600	白鳥 敬日瑚	Norihiko Shiratori	Nagano	200,000
2610	大橋 聡司	Satoshi Ohashi	Ishikawa & Toyama	500,000
2620	小泉 久司	Hisashi Koizumi	Shizuoka & Yamanashi	2,460,091
2630	亀井 喜久雄	Kikuo Kamei	Gifu & Mie	1,970,261
2660	大橋 秀典	Hidenori Ohashi	Northern Osaka	3,154,451
2670	夏見 良宏	Yoshihiro Natumi	Ehime, Kagawa, Kochi, Tokushima	1,605,100
2690	榑原 敬	Takashi Sakakibara	Okayama, Shimane, Tottori	1,543,451
2700	野崎 千尋	Chihiro Nozaki	Fukuoka, Nagasaki, Saga	3,091,661
2710	上田 文雄	Fumio Ueda	Hiroshima & Yamaguchi	2,642,760
2720	三村 彰吾	Syogo Mimura	Kumamoto & Oita	1,297,064
2740	石坂 和彦	Kazuhiko Ishizaka	Nagasaki & Saga	1,200,000
2750	伊藤 千恵	Chie Ito	Tokyo & Northern Mariana Islands	2,847,050
2760	吉川 公章	Kosyou Yoshikawa	Aichi	3,124,228
2770	岡村 睦美	Mutumi Okamura	Southeastern Saitama	1,000,000
2780	佐々木 辰郎	Taturou Sasaki	Kanagawa	1,743,501
2820	大高 司郎	Shirou Ohtaka	Ibaraki	1,589,000
2830	花田 勝彦	Katuhiko Hanada	Aomori	1,000,000
2840	森 末廣	Suehiro Mori	Gunma	1,241,849

### Final Summary

Number of Districts	24
Number of Contributing Clubs	More than 1,000
Total Amount (JPY)	41,792,353
Date of Transfer	2025-07-11
Total Amount (USD)	284,127.77

#### Appendix: Proof of Fund Transfer (Bank Record)

The following image is the official bank statement record confirming receipt of the total transfer amount of THB 9,245,517.64 on July 11, 2025. This aligns with the conversion from JPY 41,792,353 transferred from 24 Japanese Rotary districts as part of the Japan-Thailand Myanmar Recovery initiative.

## 地区内クラブ奉仕事業のご紹介（桐生 RC）

下記地区内クラブ奉仕事業は、2023～2024（保坂ガバナー年度）に実施いたしました奉仕活動アンケートをもとに、毎月1クラブずつ紹介していきます。これからの奉仕活動の参考にしてください。

職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

### 桐生ロータリークラブ

- 記入者 園田誠
- プロジェクト名 桐生4RC 合同群馬大学工学部留学生交流会
- 目的 国際奉仕
- 対象（受益者） 群馬大学工学部留学生 約50名
- 参加者 桐生南RC、桐生西RC、桐生赤城RC、桐生RC 約70名
- 費用 440,440円
- 実施期間 2025年4月26日

### 活動内容

2025.4.26に桐生4RC 合同 群馬大学工学部留学生交流会を、群馬大学桐生キャンパスにて開催いたしました。この交流会は、国際奉仕活動の一環として毎年行われています。故国を離れ風習や言語の異なる環境の中、勉学に勤しんでいる留学生を招待し、ロータリアンとの親交を深め、地域社会に溶け込んで、より有意義に留学生活が送れるよう食事しながら交流を深める、という趣旨です。

桐生ロータリークラブがホストの今年度は、8月1・2・3日に開催される桐生まつり（3日間で延べ50万人の来場者）のメインイベントである、八木節踊りを、留学生の皆さんに覚えていただき、本番で踊ってもらおうと「交流まつり」と銘打って行いました。留学生・大学側・ロータリアン合わせて約120名が輪になり、「桐雅会」の生の演奏と振付に合わせ楽しく踊りました。

### 活動成果

終盤には全員八木節を踊れるようになり、大変盛り上がりました。プレゼントした法被と鉢巻を付けて、8月の桐生まつり本番で、一緒に輪になり踊ることを約束して散会となりました。



## ご案内

### 国際ロータリー第 2840 地区大会のご案内

開催日時 2025 年 10 月 24 日 (金) 午後・10 月 25 日 (土) 午後

開催日時 ホテルメトロポリタン高崎 (高崎市八島町 222 番地)

高崎芸術劇場 大劇場 (高崎市栄町 9-1)

10/24 (金) 午後より ■ ホテルメトロポリタン高崎

- ・ 地区リーダーシップセミナー [RI 会長代理講演]
- ・ RI 会長代理歓迎晩餐会

10/25 (土) 午後より ■ 高崎芸術劇場大劇場

- ・ 農大二高吹奏楽部とシャインスターズによる歓迎演奏
- ・ RI 会長メッセージ・現況報告
- ・ 定例プログラム
- ・ ポリオデー関連プログラム

■ ホテルメトロポリタン高崎

- ・ 大懇親会

---

### 第 2840 地区 地区大会記念ゴルフ大会のご案内

開催日時 2025 年 9 月 27 日 (土) 午前 7 時より

開催日時 サンコーカントリークラブ

〒 370-2131 群馬県高崎市吉井町岩崎 2 1 7 9  
TEL 027-388-2800

ホスト 高崎東ロータリークラブ

\* 詳細については決定次第ご案内させていただきます。

国際ロータリー第 2840 地区 2025-2026 年度

## ガバナー公式訪問要領

1. ガバナー公式訪問は、単独クラブ訪問とします。
2. 訪問時は、ガバナー、ガバナー補佐、及び地区幹事又は分区担当副幹事のいずれか 1 名の計 3～4 名が原則訪問します。
3. **公式訪問前クラブ協議会の実施**

ガバナー補佐は、公式訪問前 2 週間前までに所管のクラブを訪問し、例会前後の時間等を利用してクラブ役員との協議会を実施し、各クラブの現況や課題、クラブの目標や地区運営に関する意見等について協議するとともに、公式訪問についての事前協議を行ってください。また、その結果を所定の様式にて公式訪問の 1 週間前までにガバナー事務所まで報告してください。上記は、数名のクラブ役員との懇談でも結構です。
4. **クラブ例会内での公式訪問の趣旨説明**

ガバナー補佐は、公式訪問前のクラブの例会において、公式訪問の趣旨や要領、また、現状の地区運営の状況などを 10 分～15 分程度、クラブ会員に対して説明し、出席を奨励してください。
5. **公式訪問の進め方**
  - (1) クラブ役員との懇談会（例会前 50 分）

会長、幹事、会長エレクト、クラブ・ラーニング・ファシリテーター、副会長、会員増強委員長、公共イメージ委員長、クラブが課題と認識している担当委員長等、及び地区役員、インターアクト、ローターアクト提唱クラブは、各会長も出席してください。
  - (2) 例会  
ガバナースピーチとして 20 分程度時間を割いてください。PC、プロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。
  - (3) クラブ協議会（例会後 60 分）

懇談会参加者のほか、各委員長、新入会員を義務出席とし、会員全員に出席を奨励してください。本年度は、特に地区とクラブの双方向性をキーワードとしておりますので、双方向の協議が十分できるような設営をお願いします。協議内容については以下の項目を入れてください。

    - ①クラブの課題
    - ②クラブの目標（特に会員増強計画）の進捗状況
    - ③地区運営に関するクラブのご意見
6. **公式訪問の目的は、国際ロータリー細則に以下のように規定されています。**

個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。その際には、以下を行うため、ガバナーの出席が最大限の成果を生むような機会を選ぶようにする。

  - ①ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
  - ②弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに関心を払う。
  - ③奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる。
  - ④クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規程を遵守していることを確認する。
  - ⑤顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する。
7. 各クラブは現況報告書（4 部）を 8 月 31 日までにガバナー事務所に提出してください。  
9 月 13 日までに訪問するクラブは仮報告書を、訪問 2 週間前までに提出してください。

## 2025-2026年度 ガバナー公式訪問日程表

## 2025年 8月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 桐生 (第2分区A)	19	20 桐生南 (第2分区A)	21	22 桐生西 (第2分区A)	23
24/31	25	26 桐生赤城 (第2分区A)	27	28	29	30

## 2025年 9月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1	2 富岡かぶら (第6分区)	3 館林東 (第4分区B)	4	5 藤岡南 (第6分区)	6
7	8	9 伊勢崎南 (第2分区B)	10 新田 (第4分区A)	11 館林 ミレニアム (第4分区B)	12	13
14	15	16 安中 (第6分区)	17 富岡 (第6分区)	18 藤岡 (第6分区)	19 館林 (第4分区B)	20
21	22	23	24 伊勢崎 (第2分区B)	25 富岡中央 (第6分区)	26 太田中央 (第4分区A)	27
28	29	30				

2025年 10月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1 大泉 (第4分区B)	2 沼田中央 (第5分区)	3	4
5	6	7 藤岡北 (第6分区)	8 太田西 (第4分区A)	9 碓氷安中 (第6分区)	10	11
12	13	14 沼田 (第5分区)	15	16 渋川 (第5分区)	17 前橋西 (第1分区)	18
19	20	21	22	23	24 (地区RSS)	25 (地区大会)
26	27	28 中之条 (第5分区)	29 前橋南 (第1分区)	30 群馬境 (第2分区B)	31	

2025年 11月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4 渋川みどり (第5分区)	5 前橋中央 (第1分区)	6 太田 (第4分区A)	7	8
9	10 伊勢崎東 (第2分区B)	11 太田南 (第4分区A)	12	13 伊勢崎中央 (第2分区B)	14	15
16	17	18	19	20	21 高崎 シンフォニー (第3分区)	22
23/30	24	25 前橋 (第1分区)	26	27 前橋東 (第1分区)	28	29

## 2025年 12月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1 高崎 (第3分区)	2 高崎南 (第3分区)	3	4	5	6
7	8 前橋北 (第1分区)	9 高崎 セントラル (第3分区)	10	11 高崎東 (第3分区)	12	13
14	15	16	17 高崎北 (第3分区)	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## 2025-2026 年度 地区主要行事予定表

日付	時間帯	項目	場 所
<b>2024 年</b>			
9月	1(日)	竹中ガバナーエレクト事務所開設	
	8(日)	10:30~ ★第2回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	前橋商工会議所会館
	8(日)	13:00~ ★第3回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議(森年度主催)	前橋商工会議所会館
11月	16(土)	16:00~ 第1回ガバナー補佐会議	たかさき書斎
12月	7(土)	14:00~ 第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	ロイヤルチェスター前橋
	10(火)16(月)~20(金)	委員長予定者ヒアリング	ガバナー事務所
<b>2025年</b>			
1月	25(土)	16:00~ ★第3回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
	25(土)	18:00~ ★竹中ガバナーエレクト壮行会(森年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
2月	2(日)	13:00~ 第1回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館
	2(日)	14:00~ 第2回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館
	2(日)	15:00~ 第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋問屋センター会館
	9(日)~13(木)	国際協議会(竹中ガバナーエレクト出席)	オーランド(フロリダ州)
	22(土)	10:00~ ★第4回ガバナー諮問委員会・GE報告(森年度主催)	前橋商工会議所会館
	22(土)	13:00~ 地区チームラーニングセミナー	前橋商工会議所会館
3月	22(土)	16:00~ 第2回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋商工会議所会館
	1(土)	午後 ★(米山奨学生修了式/歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
	8(土)~9(日)	10:00~ 会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	磯部ガーデン
	27(木)~30(日)	★(インターアクト台湾国際交流事業)	台湾
4月	5(土)	14:00~ ローターアクト研修	高崎市総合福祉センター
	13(日)	10:00~ 第3回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
	13(日)	13:00~ 第3回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋問屋センター会館
	20(日)	午前 ★(新規米山奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	20(日)	午後 ★(新規米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	20(日)	午後 ★(継続米山記念奨学生資格面談)	前橋問屋センター会館
5月	18(日)	終日 クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 式典	群馬音楽センター
	18(日)	夜 クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 懇親会	ホテルグランビュウ高崎
6月	7(土)	午後 ★(米山記念奨学生指定校選定会議・米山学友会総会)	ロイヤルチェスター前橋
	14(土)	午後 ★第5回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	たつ吉
	14(土)	午後 ★現新地区役員合同連絡会議(森年度主催)	たつ吉
	15(日)	★(青少年交換受入学生歓送会・長期派遣学生壮行会)	前橋問屋センター会館
	16(月)	15:00~ クラブ管理運営セミナー	高崎商工会議所6階ホール
	21(土)~25(水)	★国際大会	カルガリー
7月	1(土)	竹中ガバナー事務所開設	
	13(日)	10:00~ 第1回ガバナー諮問委員会	ホテルグランビュウ高崎
	13(日)	13:00~ 第4回地区ラーニング・管理運営委員会	ホテルグランビュウ高崎
	16(水)	18:30~ <ロータリー野球大会コミッション会議>	ホテルグランビュウ高崎
	19(土)	9:50~ (インターアクト年次大会)	前橋市民文化会館
	19(土)	18:30~ ローターアクト合同ミーティング	前橋商工会議所会館
8月	2(土)	14:00~ 第4回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館
	3(日)	13:30~ (RLIファシリテーター研修会)	前橋問屋センター会館
	24(日)	13:20~ クラブ活性化ワークショップ	前橋問屋センター会館
	26(火)	12:00~ (米山指定校説明会)	前橋問屋センター会館
	30(土)	午前 <ロータリー野球大会 第1日目 開会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	31(日)	12:30 青少年交換長期受入学生歓迎会・派遣学生帰朝報告会	ホテルサンダーソン
9月	1(土)	三好ガバナーエレクト事務所開設	
	6(土)	午前 <ロータリー野球大会 第2日目>	前橋桃ノ木川グラウンド

	日付	時間帯	項目	場 所
9月	13(土)	午後	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋問屋センター会館
	13(土)	午前	<ロータリー野球大会 第3日目>	前橋桃ノ木川グラウンド
	14(日)	午前	第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	14(日)	午後	第4回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	14(日)	15:30~	第5回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館
	15(月・祝)		(青少年交換派遣学生選考会)	前橋問屋センター会館
	20(土)	午前	<ロータリー野球大会 第4日目 閉会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	27(土)		地区大会記念ゴルフ大会	サンコーカントリークラブ
10月	28(日)	終日	(R L Iセミナー Part I)	前橋問屋センター会館
	4(土)	午前	(米山記念奨学生カウンセラー研修会)	前橋問屋センター会館
	4(土)	午後	(地区米山研修セミナー)	前橋問屋センター会館
	19(日)	終日	(R L Iセミナー Part II)	前橋問屋センター会館
	19(日)	午前	<ロータリー野球大会 予備日>	前橋桃ノ木川グラウンド
	24(金)	午後	地区リーダーシップセミナー	ホテルメトロポリタン高崎
	24(金)	夜	R I会長代理歓迎晩餐会	ホテルメトロポリタン高崎
	25(土)	午後	地区大会 式典	高崎芸術劇場
11月	25(土)	夜	地区大会 懇親会	ホテルメトロポリタン高崎
	7(金)~9(日)		(ロータリー全国選抜野球大会)	
	9(日)	終日	(R L Iセミナー Part III)	前橋問屋センター会館
	29(土)	午後	(米山記念奨学生選考会面接員オリエンテーション)	ロイヤルチェスター前橋
12月	29(土)	夕方	(米山学友会忘年会)	ロイヤルチェスター前橋
			新会員セミナー	
	6(土)	午後	第3回ガバナー諮問委員会	ロイヤルチェスター前橋
		夕方	三好ガバナーエレクト壮行会	ロイヤルチェスター前橋
	8(月)		クラブ管理運営セミナー(三好年度)	前橋問屋センター会館
			(R Y L A研修セミナー)	
<b>2026年</b>				
1月	11(日)~15(木)		国際協議会(三好ガバナーエレクト参加)	オーランド(フロリダ州)
	24(土)	終日	(米山記念奨学生選考会)	前橋問屋センター会館
2月			(職業奉仕セミナー)	
	14(土)	午前	第4回ガバナー諮問委員会・GE報告会	前橋問屋センター会館
	14(土)	午後	地区チームラーニングセミナー(三好年度)	前橋問屋センター会館
3月	23(月)		ロータリーデー	
	1(月)	午後	(ローターアクト年次大会)	プラザ・アリア(伊勢崎)
	7(土)	午後	(米山記念奨学生終了式・歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
	15(日)		会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー(三好年度)	磯部ガーデン
4月	20(金・祝)	午後	新会員セミナー	前橋問屋センター会館
			(インターアクト台湾国際交流事業・派遣)	
	18(土)	午前	(新規米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
		午後	(新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
		午後	(継続米山記念奨学生資格審査面談)	前橋問屋センター会館
			新会員セミナー	
		(インターアクト台湾国際交流事業・受入れ)		
		(青少年交換ホストクラブ第1回オリエンテーション)		
5月	16(土)	午後	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所会館
	16(土)	終日	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(三好年度)	
6月	8(月)	14:00~	クラブ管理運営セミナー(三好年度)	前橋問屋センター会館
	13(土)~17(水)		国際大会	台北
	20(土)	午後	(米山学友会総会)	ロイヤルチェスター前橋
	20(土)	午後	(米山記念奨学生指定校選定会議)	ロイヤルチェスター前橋
	27(土)	午後	第4回ガバナー諮問委員会	ロイヤルチェスター前橋
		午後	現新地区役員合同連絡会議	ロイヤルチェスター前橋
			(青少年交換受入学生歓迎会・夏期交換学生歓迎会)	

## 2025-2026 年度 周年行事・IM 開催予定表

### 2025-2026 年度 周年行事予定クラブ

年	月	日	曜日	周年	クラブ名	場 所
2026	4	11	土	60	桐生南RC	美喜仁桐生文化会館
2026	4	12	日	40	沼田中央RC	ホテルベラヴィータ
2026	4	19	日	30	高崎シンフォニーRC	ホテルメトロポリタン高崎
未定				25	藤岡南RC	未定

### 2025-2026 年度 IM 開催予定表

年	月	日	曜日	区 分	場 所
				第1分区	
				第2分区A	
				第2分区B	
				第3分区	
				第4分区A	
				第4分区B	
2025	11	24	月・祝	第5分区	
				第6分区	



美味しい、楽しい、優しい台北

### 台北国際大会推進コーディネーター 出村 知佳子（札幌北 RC）

台北は、日本から大変近く多くの友人がいる国際大会の舞台です。歴史ある文化、美味しい料理、そして人々の温かさ…そのすべてが、訪れる私たちをやさしく迎え入れてくれます。2026年6月13日から17日まで、台北ドームを中心に開催される「2026年ロータリー国際大会」では、世界中からロータリー会員やロータリーファミリーが集い、友情と奉仕の精神を分かち合い、国際的なつながりを深めます。

主なプログラムは以下の通りです。（すべて台北ドームにて開催）

- 6月14日(日):開会式(午前・午後の2回)
- 6月15日(月):全体会議(午前)
- 6月16日(火):全体会議(午前)
- 6月17日(水):閉会式(午後)

また、RI 理事主催による親善朝食会も予定されています。

- 日時:2026年6月14日(日)7:00 AM
- 会場:圓山大飯店(Grand Hotel Taipei)12階

台北国際大会への登録は【My Rotary】から可能で、登録期間によって参加費が異なります。早めの登録がお得ですので、ぜひこの機会にご予定ください。お一人でも、ご家族やクラブの仲間とでも、台北での貴重な体験を楽しんでいただけることと思います。

なお、2026年台北国際大会の日本地区チームは、以下のメンバーで構成されています。

- 第1地域:岡村睦美(第2770地区・川口 RC)
- 第2地域:吉川公章(第2760地区・名古屋南 RC)
- 第3地域:大橋秀典(第2660地区・東大阪東 RC)

私たち日本チーム一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

All Japan で一緒に体験しましょう。

「大会登録はこちらから」

(My Rotary 登録ページ:<https://convention.rotary.org/ja>)



クラブサポートミーティングの目的について

## 第2地域 行動計画推進リーダー 桑澤 一郎（茅野 RC）

25-26年度は、国際ロータリー会長が直前で交代するなど波乱の幕開けとなりました。しかし、会長代わりの方針変わらず、のメッセージも発信され、印刷物やバナーなどの取り替えが主な変更作業となっていることと思われます。

一方で日本のロータリーは、水野理事の力強い指導の下、継続性や独自の地域計画によって、地域リーダーによる積極的なサポート態勢が整っております。

地区組織や地域組織の役割は「クラブのサポート」であることは皆さん十分ご理解いただいておりますが、この十数年、社会情勢の急速の変化やコロナ禍を経て、人々の価値観も急速に変化する中で、「ロータリーも変わらなければならない！」とわかっているにもかかわらず「どう変わればいいのか」が見いだせておらず、いわば「あがいている」状態でもあるといえます。

世界的に一定の影響を持つようになったロータリーは、もっともっと世界を良くしよう、という方針を立て、実現のための戦略の第一優先を「数の力」、つまり「会員増強」と位置づけています。

闇雲な会員増強は、ロータリーやその基本であるクラブの根本を変えてしまう危険を含んでいます。ですから、実は慎重に進めなければなりません。一つの解は「衛星クラブ」です。

「エクスクルーシブ(排他的)なクラブからインクルーシブ(包摂的)なクラブへ変革しなさい」といわれても、「メンバーは選ばれたエグゼクティブの集団である」ことに価値を見出している会員も多くいます。「例会出席や寄付は成功と余裕の証であり、そうした仲間との交流がロータリーに属する価値」である会員が多数いることも事実です。そこに若い人、様々な立場の人をいれて「インクルーシブになれ」といわれてもそんなに簡単には変わりません。

インクルーシブなクラブになる一番の方法が衛星クラブの創立です。ローターアクトクラブでも良いでしょう。若く、汗をかく奉仕活動に意欲のある人々をメンバーとして迎え、彼らを支援し「自分たちにはできない」地域社会の課題に取り組んでもらうことで、地域社会への影響力を向上させ、地域におけるロータリーの新しいブランドを作ることが出来ます。

今年度から「ガバナー主催のクラブサポートミーティング」や地域リーダー主催の「ガバナーサポートミーティング」が定期開催されます。ガバナーや地域リーダーは単に数字を追うだけではなく(しかし数字も大事です!)、是非こうした戦略的手法の提案で、実質的なクラブサポートに繋げていただきたいと思っています。ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。





### 第3地域 ポリオ根絶コーディネーター 藤井 秀香（岸和田東 RC）

カルガリーでの国際大会開会式で、ビル・ゲイツ(ゲイツ財団理事長)が「私達は今、岐路に立っています。今後数年間がポリオ根絶のカギとなります。全力を注がなければ、ポリオが無くなったと思っていた国で再発してしまう恐れがあります。根絶を完遂するには、政府、医療従事者そして、ロータリーの皆様の継続な取り組みが不可欠です！」今後三年間パートナーシップを更新し取り組んでください。



去年の末には、感染者数が増えポリオ根絶の「ラストマイル」は、依然として困難な段階です。今年1月、NHK BSで(国際報道 2025 パキスタン根絶間近に見えたポリオ感染急拡大)番組が放映されました。もともと衛生状況が悪いうえ紛争、政治的混乱、気候災害、ハイリスク地域におけるワクチン拒否など、数々の課題による接種率の低下です。随分と長いよね。本当に根絶できるのだろうか？そのような声も聞こえます。尾身茂ポリオ根絶大使は、問題は『根絶されるのか？』ではなく、『いつ根絶されるか！』ということだと仰っています。ゴールは見えていないわけではない。見えております。

2025年4月21日から23日まで、アフガニスタンは今年最初の全国的なポリオワクチン接種キャンペーンを実施し、1100万人以上の子供たちに予防接種を行いました。これは隣国のパキスタンでのキャンペーンと同期しました。5月、アフガニスタンは2回目の全国キャンペーンを実施し、再びパキスタンと同期しました。この連続した調整は、高い感染シーズンを前に、免疫のギャップを埋め、ウイルスとの戦いを強化するのに役立ちました。

アフガニスタンとパキスタンでの4月と5月のキャンペーンは、免疫力を高め、ウイルスのさらなる拡散を防ぐ重要な機会を提供しました。アフガニスタンのポリオ根絶プログラムは、すべての子供を守るために適応と革新を続けています。

日本では、95%の子供に母子混合ワクチンを接種しており、年間151億円もかかっています。日本では発症者ゼロですが、根絶しない限り接種は続けなくてはなりません。世界のどこかにポリオウイルスが存在する限り、ほかの国でポリオが再び発生する可能性があり、全世界への感染拡大リスクは無くなりません。ポリオ根絶の取り組みを今ストップしたら、今後10年間に毎年20万人の子供が身体まひを発症する可能性があります。ポリオプラスへの皆様のコミットメントと寛大な年間寄付は、ポリオの世界的な根絶に具体的な支援を提供し、世界の理解、善意、平和を促進します。

天然痘に次ぐ歴史上2番目の人間の病気を根絶する歴史的な機会は、手の届くところにあります。天然痘がそうであったように、1つの疾病を世界から根絶するのはとてつもなく大きな仕事で、一人でも多くの力が、必要とされています。特定の地域における徹底した定期予防接種、ほかの予防接種活動(キャンペーンなど)の実施、疾病のモニタリングやポリオウイルスを検知するための廃水のサーベイランス(監視)といった活動にも寄付金は使われます。

最近の課題は、米国トランプ政権による予測不能な政策です。ロータリーは、寄付国政府から支援を確保するために、アドボカシーを行ってきました。

ファンドレイジングとは、「与えることの喜び」を人に教える方法です。

ヘンリー・ロツソ（インディアナ大学 Lilly Family）

パキスタンにポリオワクチン投与に参加した折、30年間のロータリー歴でポリオにさせて頂いた寄付はこの様に使われているのだと感動いたしました。ストーリーテリングとは、物語を使って情報やメッセージを伝える手法のことを指します。ただ単に事実や数字だけを伝えるのではなく、感情を揺さぶるようなポリオ根絶活動や具体的な例（世界ポリオデー、フォトコンテストなど）を伝えることで、相手に印象を与え、共感を得たり行動を促したりする方法で、ファンドレイジング出来ればと考えております。

第3地域では全地区ポリオ根絶委員会を設けており、ご寄付や支援するための行事も考えておられます。第2640地区の和歌山南RCは全会員74名ポリオプラス・ソサエティ(PPS)に参加くださいました。敬意を表します。国際ロータリー75周年の年に子供たちへの約束をしたのですからワクチンで予防できる疾病に苦しむ子どもがあってはなりません。国際ロータリーは揺るぐ事なく最優先事項「ポリオ根絶」に立ち向かっていきます。

## 出席報告（6月末日現在）・My Rotary 登録率

クラブ名	年度初（女性）	当月初（女性）	新会員（女性）	退会数（女性）	月末数（女性）	純増減（女性）
44	2032(173)	2048(183)	19 (1)	58(0)	2009(176)	-23(3)
	自クラブ出席率		当月出席率（メイク含む）		MyRotary 登録率 （7月24日現在）	
	68.3%		75.9%		78.18%	

※純増減は年度初の会員数との対比となります。

クラブ名	回数	自クラブ出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）								メイク	出席率	MyRotary登録率 (7月24日現在)
			年度初 (女性)	当月初 (女性)	新会員 (女性)	退会数 (女性)	月末数 (女性)	純増減 (女性)					
第1分区	前橋	3	67.95%	118 (12)	117 (12)	1 (0)	1 (1)	117 (11)	-1 -(1)	0	67.95%	86.32%	
	前橋西	4	63.13%	60 (7)	59 (7)	2 (0)	5 (2)	56 (5)	-4 -(2)	26	75.16%	85.71%	
	前橋東	3	72.90%	50 (5)	51 (4)	2 (0)	3 (0)	50 (4)	0 -(1)	10	79.50%	80.00%	
	前橋北	4	80.72%	81 (1)	81 (1)	0 (0)	2 (0)	79 (1)	-2 (0)	0	80.72%	87.34%	
	前橋南	4	67.55%	57 (5)	57 (5)	0 (0)	1 (0)	56 (5)	-1 (0)	4	69.30%	82.14%	
	前橋中央	3	84.98%	18 (4)	23 (5)	0 (0)	0 (0)	23 (5)	5 (1)	5	92.49%	79.17%	
	合計		72.87%	384 (34)	388 (34)	5 (0)	12 (3)	381 (31)	-3 -(3)		77.52%	83.45%	
第2分区A	桐生	4	59.70%	69 (11)	71 (12)	0 (0)	0 (0)	71 (12)	2 (1)	37	75.39%	90.14%	
	桐生南	3	68.26%	38 (5)	37 (4)	0 (0)	0 (0)	37 (4)	-1 -(1)	8	75.97%	67.57%	
	桐生西	3	66.66%	50 (11)	50 (11)	0 (0)	1 (0)	49 (11)	-1 (0)	21	81.24%	97.87%	
	桐生赤城	3	69.77%	39 (6)	40 (7)	0 (0)	1 (0)	39 (7)	0 (1)	18	85.34%	72.50%	
	合計		66.10%	196 (33)	198 (34)	0 (0)	2 (0)	196 (34)	0 (1)		79.49%	82.02%	
第2分区B	伊勢崎	3	80.95%	81 (5)	78 (5)	1 (0)	0 (0)	79 (5)	-2 (0)	22	91.43%	100.00%	
	群馬境	3	84.13%	25 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	-2 (0)	0	84.13%	52.17%	
	伊勢崎中央	3	72.07%	90 (8)	90 (9)	1 (0)	3 (0)	88 (9)	-2 (1)	11	78.49%	84.09%	
	伊勢崎南	4	72.00%	26 (2)	25 (2)	0 (0)	0 (0)	25 (2)	-1 (0)	7	79.00%	100.00%	
	伊勢崎東	3	72.55%	35 (3)	35 (3)	0 (0)	1 (1)	34 (2)	-1 -(1)	0	72.55%	97.22%	
	合計		76.34%	257 (20)	251 (21)	2 (0)	4 (1)	249 (20)	-8 (0)		81.12%	86.70%	
第3分区	高崎	3	52.18%	140 (10)	136 (10)	4 (0)	2 (0)	138 (10)	-2 (0)	8	54.12%	52.52%	
	高崎南	3	55.71%	66 (9)	69 (11)	1 (0)	4 (1)	66 (10)	0 (1)	2	58.57%	43.94%	
	高崎北	3	51.11%	77 (1)	76 (0)	1 (0)	0 (0)	77 (0)	0 -(1)	32	65.33%	63.64%	
	高崎東	3	61.26%	29 (2)	28 (3)	0 (0)	2 (0)	26 (3)	-3 (1)	10	74.93%	76.92%	
	高崎シンフォニー	3	73.85%	46 (9)	45 (9)	0 (0)	0 (0)	45 (9)	-1 (0)	17	85.05%	97.83%	
	高崎セントラル	3	72.73%	28 (0)	33 (0)	0 (0)	0 (0)	33 (0)	5 (0)	5	78.79%	60.61%	
	合計		61.14%	386 (31)	387 (33)	6 (0)	8 (1)	385 (32)	-1 (1)		69.47%	65.91%	

クラブ名	回数	自クラブ 出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）								メイ ク	出席率	MyRotary 登録率 (7月24日現在)					
			年度初 (女性)		当月初 (女性)		新会員 (女性)	退会数 (女性)	月末数 (女性)					純増減 (女性)				
第4分区A	太田	4	58.44%	68	(2)	67	(3)	3	(0)	0	(0)	70	(3)	2	(1)	1	58.85%	100.00%
	太田西	3	91.67%	12	(1)	12	(1)	0	(0)	1	(0)	11	(1)	-1	(0)	6	100.00%	63.64%
	太田南	2	71.43%	43	(2)	49	(4)	0	(0)	2	(0)	47	(4)	4	(2)	6	77.55%	100.00%
	新田	2	63.57%	23	(3)	23	(3)	0	(0)	2	(0)	21	(3)	-2	(0)	0	63.57%	42.86%
	太田中央	4	54.35%	44	(4)	46	(5)	0	(0)	0	(0)	46	(5)	2	(1)	2	55.44%	84.78%
	合計		67.89%	190	(12)	197	(16)	3	(0)	5	(0)	195	(16)	5	(4)		71.08%	78.26%
第4分区B	館林	2	75.96%	55	(4)	54	(3)	1	(1)	0	(0)	55	(4)	0	(0)	7	82.70%	87.27%
	大泉	3	72.42%	26	(3)	26	(3)	1	(0)	2	(0)	25	(3)	-1	(0)	11	88.26%	24.00%
	館林西	3	61.10%	13	(1)	12	(1)	0	(0)	12	(1)	0	(0)	-13	-(1)	5	75.00%	—
	館林東	2	81.67%	8	(1)	7	(1)	0	(0)	1	(0)	6	(1)	-2	(0)	2	100.00%	57.14%
	館林ミレニアム	2	76.44%	28	(2)	28	(2)	0	(0)	1	(1)	27	(1)	-1	-(1)	1	78.62%	100.00%
	合計		73.52%	130	(11)	127	(10)	2	(1)	16	(2)	113	(9)	-17	-(2)		84.92%	67.10%
第5分区	渋川	3	72.77%	55	(5)	58	(5)	0	(0)	0	(0)	58	(5)	3	(0)	29	90.56%	74.58%
	沼田	3	49.30%	72	(3)	79	(3)	0	(0)	0	(0)	79	(3)	7	(0)	9	67.93%	98.67%
	草津温泉	0	0.00%	6	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0.00%	—
	中之条	4	89.27%	20	(0)	18	(0)	0	(0)	2	(0)	16	(0)	-4	(0)	0	89.27%	56.25%
	沼田中央	3	58.33%	49	(4)	50	(4)	0	(0)	1	(0)	49	(4)	0	(0)	21	72.91%	100.00%
	渋川みどり	3	54.73%	42	(5)	50	(7)	0	(0)	2	(1)	48	(6)	6	(1)	12	62.21%	89.58%
	合計		54.07%	244	(18)	255	(19)	0	(0)	5	(1)	250	(18)	6	(0)		63.81%	83.82%
第6分区	富岡	4	90.69%	39	(3)	41	(3)	0	(0)	0	(0)	41	(3)	2	(0)	8	96.43%	58.54%
	藤岡	2	84.34%	43	(3)	43	(3)	0	(0)	0	(0)	43	(3)	0	(0)	2	86.75%	76.74%
	安中	4	38.35%	58	(3)	58	(3)	0	(0)	0	(0)	58	(3)	0	(0)	31	51.72%	55.36%
	藤岡北	2	83.33%	8	(1)	7	(1)	0	(0)	0	(0)	7	(1)	-1	(0)	0	83.33%	57.14%
	富岡中央	3	78.85%	42	(3)	38	(3)	1	(0)	2	(0)	37	(3)	-5	(0)	6	84.62%	78.38%
	碓氷安中	2	71.42%	7	(0)	7	(0)	0	(0)	0	(0)	7	(0)	0	(0)	0	71.42%	71.43%
	藤岡南	2	88.58%	22	(0)	21	(0)	0	(0)	3	(0)	18	(0)	-4	(0)	0	88.58%	66.67%
	富岡かぶら	3	58.89%	26	(1)	30	(3)	0	(0)	1	(0)	29	(3)	3	(2)	17	77.78%	53.33%
	合計		74.31%	245	(14)	245	(16)	1	(0)	6	(0)	240	(16)	-5	(2)		80.08%	64.70%

## 新会員紹介



氏名 小板橋 信也  
 クラブ 前橋  
 入会日 2025年7月5日  
 職業分類 不動産  
 勤務先 群馬土地(株)  
 役職 取締役社長  
 推薦者 深井彰彦



氏名 竹内 貴浩  
 クラブ 前橋  
 入会日 2025年7月5日  
 職業分類 証券業  
 勤務先 SMBC日興証券(株)  
 高崎支店  
 役職 支店長  
 推薦者 廣田 哲也



氏名 狩野 敏子  
 クラブ 前橋  
 入会日 2025年7月5日  
 職業分類 電気通信工事  
 勤務先 上毛電業(株)  
 役職 代表取締役  
 推薦者 板垣 忍



氏名 前田 光利  
 クラブ 前橋西  
 入会日 2025年6月1日  
 職業分類 飲食店  
 勤務先 (有)グローバルファクトリー  
 役職 専務取締役  
 推薦者 金井 修



氏名 北角 好広  
 クラブ 前橋西  
 入会日 2025年6月1日  
 職業分類 金融業  
 勤務先 第一生命保険(株)  
 前橋東オフィス  
 役職 営業部長  
 推薦者 金井 修



氏名 大本 周平  
 クラブ 前橋東  
 入会日 2025年6月5日  
 職業分類 人材派遣  
 勤務先 (株)セントラルサービス  
 役職 専務取締役  
 推薦者 大本 計馬



氏名 原田 泰成  
 クラブ 前橋東  
 入会日 2025年6月5日  
 職業分類 保険業  
 勤務先 ソニー生命保険(株)  
 役職 営業  
 推薦者 丸橋 雄太



氏名 関口 英明  
 クラブ 前橋中央  
 入会日 2025年7月9日  
 職業分類 塗装業  
 勤務先 美巧装業株式会社  
 役職 代表取締役  
 推薦者 五十嵐 力



氏名 大木 剛  
 クラブ 桐生赤城  
 入会日 2025年7月2日  
 職業分類 建築物清掃業  
 勤務先 (有)トータルクリーンズ  
 役職 代表取締役  
 推薦者 石井孝典、佐藤稔也



氏名 新井 健文  
 クラブ 伊勢崎東  
 入会日 2025年7月14日  
 職業分類 塗装・防水  
 勤務先 株式会社 ASAHI  
 役職 代表取締役  
 推薦者 大木孝之



氏名 渡邊 丈博  
 クラブ 高崎  
 入会日 2025年6月5日  
 職業分類 証券業  
 勤務先 大和証券株式会社  
 役職 高崎支店長  
 推薦者 片山 政明



氏名 上原 一慶  
 クラブ 高崎  
 入会日 2025年6月5日  
 職業分類 生命保険  
 勤務先 第一生命保険株式会社  
 役職 営業部長  
 推薦者 広瀬 雅美



氏名 八木 達也  
 クラブ 高崎  
 入会日 2025年6月16日  
 職業分類 損害保険  
 勤務先 東京海上日動火災保険株式会社  
 役職 高崎支社長  
 推薦者 推薦者：三村 治



氏名 山火 祐介  
 クラブ 高崎  
 入会日 2025年6月18日  
 職業分類 設備業  
 勤務先 TLC株式会社  
 役職 代表取締役  
 推薦者 田中久夫、金井 裕



氏名 磯貝 丈晴  
 クラブ 高崎北  
 入会日 2025年6月4日  
 職業分類 情報処理関連機器販売  
 勤務先 富士フイルムビジネス  
 イノベーションジャパン(株)  
 役職 群馬支社長  
 推薦者 近藤 利弘、北形 信也



氏名 松浪 康行  
 クラブ 太田  
 入会日 2025年6月19日  
 職業分類 建築  
 勤務先 松浪建設株式会社  
 役職 代表取締役  
 推薦者 小林 禎



氏名 大川 孝平  
 クラブ 太田  
 入会日 2025年6月19日  
 職業分類 歯科医師  
 勤務先 医療法人 大川歯科医院  
 役職 理事長  
 推薦者 岡田敏郎



氏名 大久保 隆  
 クラブ 太田  
 入会日 2025年6月19日  
 職業分類 損害保険  
 勤務先 東京海上日動火災保険株式会社  
 役職 太田支社長  
 推薦者 関口 知



氏名 石井 恵里  
 クラブ 太田南  
 入会日 2025年7月2日  
 職業分類 生命保険  
 勤務先 明治安田生命保険相互会社  
 太田支社 太田営業部  
 役職 支部マネージャー  
 推薦者 石川 訓



氏名 浅野 基和  
 クラブ 渋川  
 入会日 2025年7月3日  
 職業分類 プラスチック成形  
 勤務先 東洋化工(株)  
 役職 代表取締役  
 推薦者 西尾一也

## 新会員入会実績報告（6月末日現在）

クラブ名	年度初	新会員 入会目標	新会員 入会実績	達成率	目標残
<b>44</b>	<b>2032</b>	<b>126</b>	<b>148</b>	<b>117%</b>	<b>-22</b>

	クラブ名	年度初	入会目標	入会実績	目標残	達成率
第1分区	前橋	118	2	17	-15	850.0%
	前橋西	60	5	3	2	60.0%
	前橋東	50	2	7	-5	350.0%
	前橋北	81	4	3	1	75.0%
	前橋南	57	5	2	3	40.0%
	前橋中央	18	3	7	-4	233.3%
	合計	384	21	39	-18	185.7%
第2分区A	桐生	69	5	4	1	80.0%
	桐生南	38	3	0	3	0.0%
	桐生西	50	3	1	2	33.3%
	桐生赤城	39	2	2	0	100.0%
	合計	196	13	7	6	53.8%
第2分区B	伊勢崎	81	5	7	-2	140.0%
	群馬境	25	3	1	2	33.3%
	伊勢崎中央	90	4	5	-1	125.0%
	伊勢崎南	26	3	1	2	33.3%
	伊勢崎東	35	1	1	0	100.0%
	合計	257	16	15	1	93.8%
第3分区	高崎	140	8	8	0	100.0%
	高崎南	66	2	5	-3	250.0%
	高崎北	77	3	6	-3	200.0%
	高崎東	29	2	1	1	50.0%
	高崎シンフォニー	46	2	0	2	0.0%
	高崎セントラル	28	3	6	-3	200.0%
	合計	386	20	26	-6	130.0%

	クラブ名	年度初	入会目標	入会実績	目標残	達成率
第4分区A	太田	68	5	6	-1	205.7%
	太田西	12	3	0	3	0.0%
	太田南	43	2	7	-5	350.0%
	新田	23	3	0	3	0.0%
	太田中央	44	3	3	0	100.0%
	合計	190	16	16	0	100.0%
	第4分区B	館林	55	5	1	4
大泉		26	1	5	-4	500.0%
館林西		13	2	0	2	0.0%
館林東		8	2	0	2	0.0%
館林ミレニアム		28	1	3	-2	300.0%
合計	130	11	9	2	81.8%	
第5分区	渋川	55	1	4	-3	400.0%
	沼田	72	5	9	-4	180.0%
	草津温泉	6	2	0	2	0.0%
	中之条	20	1	1	0	100.0%
	沼田中央	49	2	2	0	100.0%
	渋川みどり	42	2	8	-6	400.0%
	合計	244	13	24	-11	184.6%
第6分区	富岡	39	2	4	-2	200.0%
	藤岡	43	3	1	2	33.3%
	安中	58	2	2	0	100.0%
	藤岡北	8	1	0	1	0.0%
	富岡中央	42	2	1	1	50.0%
	碓氷安中	7	2	0	2	0.0%
	藤岡南	22	2	0	2	0.0%
	富岡かぶら	26	2	4	-2	200.0%
	合計	245	16	12	4	75.0%

＊上記の数値は新会員入会者のみの目標および実績を表記しております。退会者数はカウントしておりません。よって各クラブの現在の会員数を示すものではありません。

## ガバナーより一言

地区会員必携に掲載いたしました「ガバナーから国際ロータリー第 2840 地区会員の皆様へ」というメッセージの補稿を書き、今月の月信にも掲載いたしました。

補稿本文にも書かせていただきましたが、アレツツオ氏が後継の会長エレクトになり、メッセージもないまま7月1日新年度を迎えたことへの戸惑いは皆様と同じでした。

二人の会長+会長エレクトの Unite for Good の理解、その推進の考え方を整理してみました。お二人には、お使いになる単語やストーリー建てに多少の違いはありますが、違いはほとんどないと感じました。

- ・ 会員を増やし、ロータリーの影響を拡大する
- ・ ロータリーの本質を理解するとともに、時代や地域の要請に従い改革する
- ・ 他の組織、団体と連携を図り、ロータリーの活動を通じインパクトを与える  
でしょうか。

お二人が、示されたキーワードは、

- ・ Membership (会員数、会員増強)
- ・ Innovation (革新)、Continuity (継続性)、Partnership (パートナーシップ)
- ・ Dream (夢)、Connect (つながり)、Plan (計画)、Act (行動)、Fail (失敗)、Recognition & Apology (認識と謝罪)、Responsibility (責任)、Have Fun (楽しむ)
- ・ Capacity (〇〇が持つ能力)、Retention (保つ力) ← (日本語にしづらい)
- ・ Creativity (創造性)
- ・ Polio (ポリオ撲滅)

そして、Peace (平和)、Together (共に、さあ一緒に!) !

です。この中でも私は、Together ! が好きです。

元々、Unite for Good は、国際ロータリー理事会で採択されたメッセージなので、会長が変わってもその解釈に大きな変更はないのは当然かもしれません。

私たちは、示されたメッセージとキーワードを考え、語りあい、解釈して、自分たち、自らのクラブの活動に結び付けていかなければならないと考えます。キーワードは、ロータリー活動に限らず、人としていかにあるべきか、いかに生きるべきかを考えさせてくれるものでもあると感じています。

(今後、文章にするときは、フランチェスコ氏ではなくアレツツオ会長、マリオ氏ではなくデ・カマルゴ氏とすることにしました。)

ガバナーは、少なくとも月に1回、地区内の各クラブ会長およびクラブ幹事と連絡を取る義務があります。このコミュニケーションを「ガバナー月信」と表現するようです。私もクラブリーダーとのコミュニケーションの重要性は十分理解しています。クラブの運営に資する情報を、形式、手段、頻度にとらわれず発信させていただきます。

地区内全会員への呼びかけのツールとしても、ガバナー月信を充実させてまいりますので、クラブリーダーの皆様、会員へガバナー月信の購読の呼びかけを引き続き、よろしくお願い申し上げます。

## ガバナー月信の表紙について

司馬遼太郎氏の随筆に「21世紀を生きる君たちへ」があります。次世代への呼びかけであります。少し長くなりますが、一部をご紹介します。

・・・助け合う、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。

助け合うという気持ちや行動のものは、いたわりという感情である。

他人の痛みを感じることもいい。

やさしさと言いかえてもいい。

「やさしさ」

「おもいやり」

「いたわり」

「他人の痛みを感じること」

みな似たような言葉である。

これらの言葉は、元々一つの根から出ている。

根といっても、本能ではない。だから、私たちは訓練をしてそれを身に付けねばならない。

その訓練とは、簡単なことだ。例えば、友達が転ぶ。ああ痛かったろうな、と感じる気持ちを、その都度自分で創り上げていきさえすればよい。

この根っこの感情が、自己の中でしっかり根づいていけば、他民族へのいたわりという気持ちも湧き出てくる。

君たちさえ、そういう自己を作っていけば、二十一世紀は人類が仲良しで暮らせる時代になるに違いない。

『二十一世紀に生きる君たちへ』司馬遼太郎／世界文化社／2001年

ロータリーでは、数年間ですが、DEIという考え方を推進しました。

多様性、公平さ、インクルージョン。改めて言われなくても、日本人の心の中には「思いやり」が根付いていました。しかしながら、どんな時も「思いやり」や「いたわり」の気持ちが自然に湧きおこるわけではありません。私自身、見てみないふりをしてしまった自分を後で恥じ入ることもあります。

困りごとのある方、サポートを必要としている方へ寄り添う気持ちを持つためには、誰が、何で困っていて、どのようなサポートを必要としているのか、少し意識し続けなくてはなりません。

今年度のガバナー月信の表紙で、群馬県で活動するハンディキャップのあるアーティストの活動や作品をご紹介しますことになりました。あわせて、その方、その方の創作活動をサポートし続けている個人、団体もご紹介できればと考えています。

誰かが転んだ時に、痛かっただろうと気遣う気持ちを持つだけでなく、反射的に、駆け寄り、手を差し伸べられるような人でありたいと思います。

ロータリアンであれば、それぞれ専門の職業もお持ちです。

気遣う気持ちの次は、行動です。医療に携わられている方ならケガの心配、手当て。建設に携わられている方なら転んだ原因の分析、解消。移動に介助が必要な方へのサポート……などなど。

何より、痛かっただろうと思い、駆け寄り、手を差し伸べられる若者を一人でも多く世の中に送り出すことが、私たち、ロータリアンの使命ではないでしょうか。

少し視野を広げて、世の中で起こっている様々な事象に目を向けましょう。

ロータリアン同士で手を取りあうことはもちろんですが、ロータリアン以外にもパートナーシップを拡大し、地域社会にインパクトをもたらす活動を続けてまいりましょう。

#### 表紙説明

高崎市本町にある NPO 法人工房あかねが運営する障害福祉事業所「アトリエ ART・ON」では、利用者が自由に自己表現を楽しみながら創作活動に取り組んでいます。絵画や工作、刺繍など、スタッフと共に多彩な制作を行い、その成果は展示会への出展やアートグッズとしての展開など、さまざまな形で発信されています。

作品は、まさおさんの高崎市民展で入賞した作品「ケロタン」。

## ガバナー事務所よりお願い

---

### ■ガバナー月信に関して

- ・原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し竹中隆ガバナー事務所 (takenaka@rid2840.jp) まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- ・新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。(15 日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。) 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。  
なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。

### ■ガバナー事務所に関して

- ・ガバナー事務所の開所時間は従前どおり午前 10 時から午後 5 時となっておりますのでよろしくお願いいたします。尚、原則として正午から午後 1 時までには昼休みとなっております。
- ・ガバナー事務所は下記の期間、夏期休暇を頂きますのでよろしくお願いいたします。

**2025年8月12日(火)～2025年8月15日(金)**

### ■月信への寄稿のお願い

- ・毎月 1 日に発刊しているガバナー月信ですが、是非とも第 2840 地区の各クラブで行われた奉仕事業やクラブの自慢などを、月信に寄稿してみませんか？  
原稿締め切りは毎月 15 日になります。原稿を 15 日以前にガバナー事務所宛にメールしていただければ翌月号に掲載させていただきます



竹中 隆 ガバナー事務所

〒 371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1F  
TEL: 027-212-2840 FAX: 027-212-2841